

令和4年度

京都府民のスポーツに関する実態調査

報 告 書 概要版

令和5年4月

京 都 府 教 育 委 員 会

目 次

I. 調査の実施概要

1. 調査の概要	4
2. 報告書の見方	4

II. 回答者の属性

1. あなた自身のことについて	
問1. 性別	5
問2. 年代	5
問3. 居住地域	6
問4. 障害の有無、運動の可否	6
問5. 職業	7

III. 調査結果

2. 健康や体力に関することについて	
問6. 現在の健康状態	8
問7. 普段、運動不足を感じるか	8
3. 運動やスポーツの実施に関することについて（するスポーツ）	
問8. 運動・スポーツの実施種目	9
問9. 運動・スポーツの実施頻度	11
問10. 汗をかく運動を30分以上実施した頻度	12
問11. 運動・スポーツをした理由	12
問12. 運動・スポーツの実施場所	13
問13. 運動・スポーツの実施形態	14
問14. 情報を得る方法（するスポーツ）	15
問15. 運動・スポーツをしなかった理由	16
問16. 今後の運動・スポーツの実施予定	17
問17. 1年前と比較した運動実施頻度の変化	17
問18. 運動・スポーツの実施が増えた理由	18
問19. 運動・スポーツの実施が減った・変わらない理由	19
問20. 運動・スポーツが嫌いな理由	20
問21. 運動・スポーツを習慣化する取組のスポーツ実施頻度への影響	21
問22. 新たにやってみたい運動・スポーツの種目	22

4. 運動やスポーツの実施に関することについて（みるスポーツ）	
問23. スポーツの観戦状況	23
問24. 観戦した理由	25
問25. 観戦した頻度	26
問26. 情報を得る方法（みるスポーツ）	27
問27. 観戦して感じたこと	28
5. 運動やスポーツの実施に関することについて（ささえるスポーツ）	
問28. ボランティアの実施について	29
問29. ボランティアの実施形態	30
問30. ボランティアの実施頻度	30
問31. 情報を得る方法（ささえるスポーツ）	31
問32. ボランティアへの動機付けについて	32
6. 身近なスポーツに関すること（生涯スポーツ）	
問33. 運動・スポーツ以外の趣味や娯楽	33
問34. 参加してみたいスポーツイベント	34
問35. 遠隔でのスポーツ参加	34
問36. 運動やスポーツ等への費用の支出	35
問37. ワールド・マスターズ・ゲームズ（WMG）の認知度	37
7. 障害者スポーツに関すること	
問38. 障害者スポーツを推進することでもたらされる効果	38
問39. 障害者がスポーツに参画するための手立て	39
問40. 障害者スポーツの競技力向上について	40
8. 子どものスポーツに関することについて	
問41. 部活動の地域移行についての認知度	41
問42. 部活動についての自由記述	42
9. 競技スポーツに関することについて	
問43. 競技力向上のための環境整備	43
問44. 運動・スポーツ活動の推進のために必要な指導者	44
10. eスポーツに関することについて	
問45. eスポーツの認知度	45
問46. eスポーツへの参加意欲	45
問47. eスポーツのとらえかた	46

11. スポーツ施設に関することについて

問48. 公共スポーツ施設に望むこと _____ 46

問49. 公共スポーツ施設で不足しているもの _____ 47

問50. 民間スポーツ施設に望むこと _____ 48

問51. 自治体に力を入れて欲しいこと _____ 49

I. 調査の実施概要

府民のスポーツ実施状況に関する意識と実態を把握し、今後のスポーツ推進に向けた施策に資する基礎資料を得ることを目的とし、府民のスポーツ実施状況に関する意識と実態についての調査を実施した。

1. 調査の概要

調査期間 令和4年10月14日（金）～ 11月11日（金）

調査設計

調査地域	京都府内全域
調査対象	府内在住の18歳以上の男女・個人
標本数	3,000人
抽出台帳	選挙人名簿
抽出方法	層化二段無作為抽出法（府内市（区）町村別）

調査項目

- 基本情報（回答者の性別、年齢、居住地、職業等）
- 運動・スポーツの実施状況
- 身近なスポーツに関することについて
- 障害者スポーツに関することについて
- 子どものスポーツに関することについて
- 競技スポーツに関することについて
- eスポーツに関することについて
- スポーツ施設に関することについて

回答結果：有効回答数 1087件（有効回答率 36.2%）

2. 報告書の見方

- 比率はすべて、各設問の不明・無回答を含む集計対象者数（副問では当該設問回答対象者数）に対する百分率（%）を表している。1人の対象者に2つ以上の回答を求める設問（複数回答設問）では、百分率（%）の合計は、100.0%を超える場合がある。
- 百分率（%）は小数第1位までを表示した。1つだけ回答を求める設問（単数回答設問）では、四捨五入の関係上各選択肢の百分率（%）の合計が100.0%にならない場合がある。また、2つ以上の選択肢を集約した場合は、該当選択肢の回答数の合計から割合を算出しているため、グラフに示した選択肢ごとに算出した割合の合計と一致しない場合がある。
- 図表中の「N」は集計対象者数（あるいは、分類別の該当対象者数）を示し、各選択肢の回答比率は「N」を集計母数として算出した。また、図表中の「n」は当該選択肢の回答者数を示す。
- 本文や図表中の選択肢表記は、語句を簡略化している場合がある。

Ⅱ. 回答者の属性

1. あなた自身のことについて

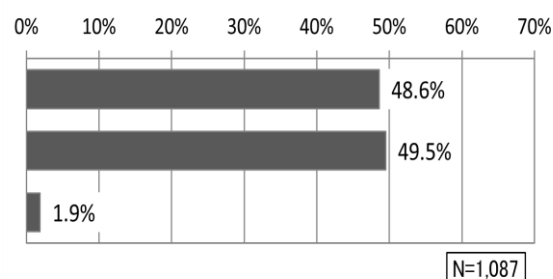
①性別

問1 あなたの性別は。(1つだけ)

○性別は、「女性」が49.5%、「男性」が48.6%となっている。

○京都府の実態構成（国勢調査：令和2年10月1日）と比べると、本調査の回答者は「女性」の割合が低い。

選択肢	18歳以上人口	府全体割合	標本数(件)	割合
男性	1,045,940	47.2%	528	48.6%
女性	1,170,646	52.8%	538	49.5%
不明・無回答	-	-	21	1.9%
合 計	2,216,586	100.0%	1,087	100.0%



回答者の性別

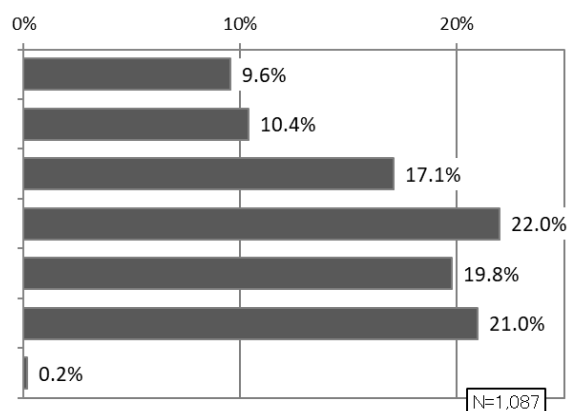
②年代

問2 あなたの年齢は。(アンケート実施時点)(1つだけ)

○年代は、「50歳代」が22.0%で最も多く、以下、「70歳代」が21.0%、「60歳代」が19.8%と続いている。

○京都府の実態構成と比べると、本調査の回答者は50・60歳代の割合が高く、20歳代以下が低くなっており留意する必要がある。※20歳代以下～50歳代（働き盛り世代）と60歳代～70歳代以上（高齢者）という区分でみると、府の年齢構成と近い割合となっている。

選択肢	18歳以上人口	府全体割合	標本数(件)	割合
20歳代以下	346,233	15.6%	104	9.6%
30歳代	271,763	12.3%	113	10.4%
40歳代	368,539	16.6%	186	17.1%
50歳代	332,535	15.0%	239	22.0%
60歳代	299,435	13.5%	215	19.8%
70歳代以上	598,081	27.0%	228	21.0%
不明・無回答	-	-	2	0.2%
合 計	2,216,586	100.0%	1,087	100.0%



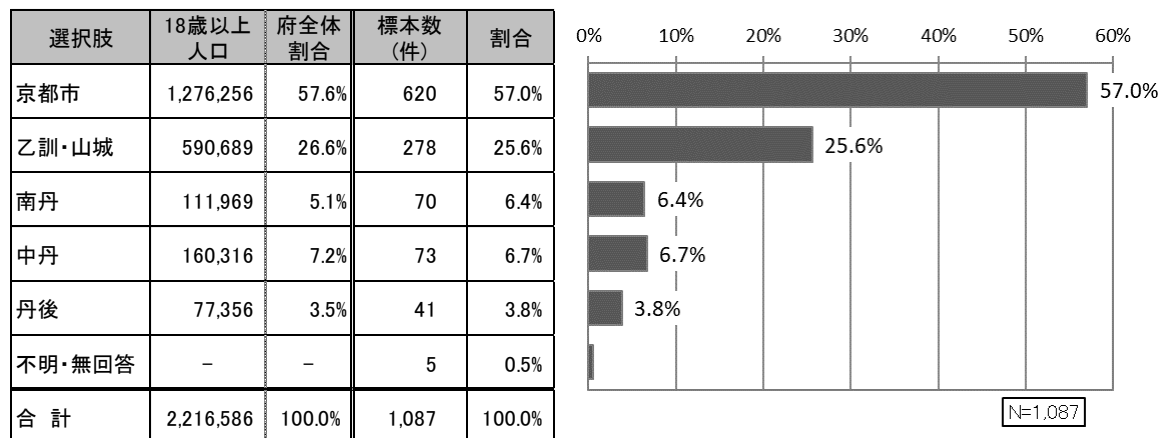
回答者の年代

③居住地域

問3 あなたのお住まいは。(1つだけ)

○居住地域は、「京都市」が57.0%で最も多く、次いで「乙訓・山城」が25.6%となっている。

○府全体の割合と比べると、おおよそ一致している。

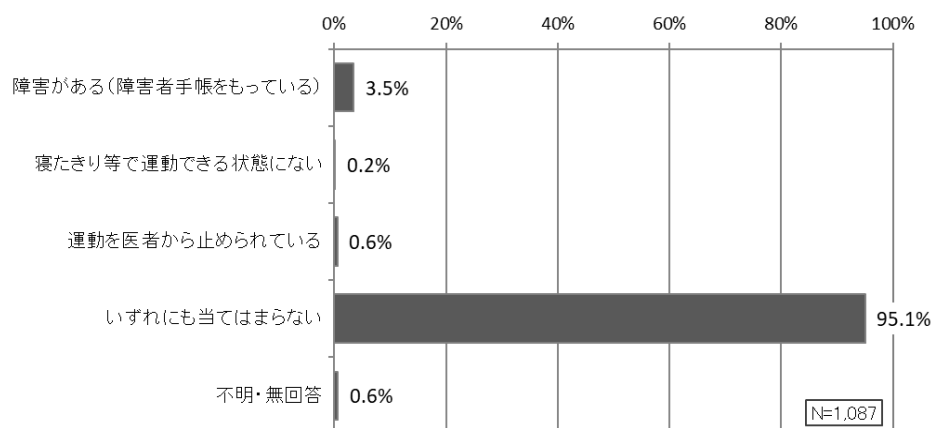


回答者の居住地域

④障害の有無、運動の可否

問4 あなたの体の状況（障害の有無、運動の可否）について教えてください。(1つだけ)

○障害の有無は、「いずれにも当てはまらない」が95.1%、「障害がある（障害者手帳をもっている）」が3.5%となっている。



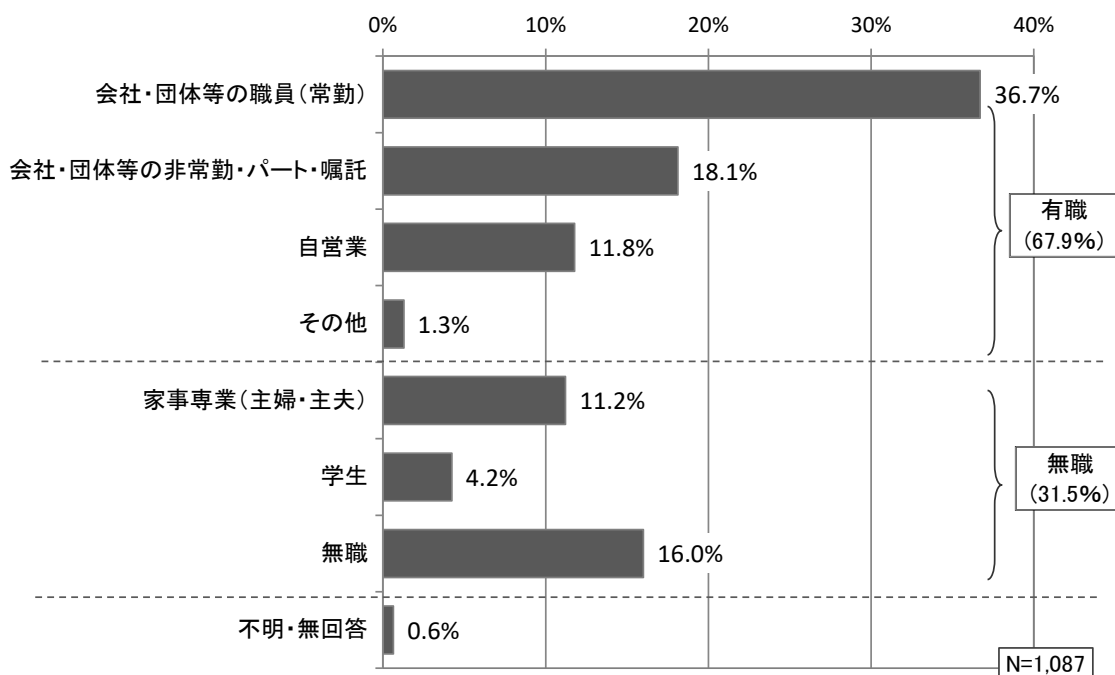
回答者の体の状況

⑤職業

問5 あなたのお仕事は。(1つだけ)

○職業は、『有職』が67.9%、『無職』が31.5%となっている。

○『有職』では「会社・団体等の職員(常勤)」が36.7%で最も多く、次いで「会社・団体等の非常勤・パート・嘱託」が18.1%、『無職』では「無職」が16.0%で最も多く、次いで「家事専業(主婦・主夫)」が11.2%となっている。



回答者の職業

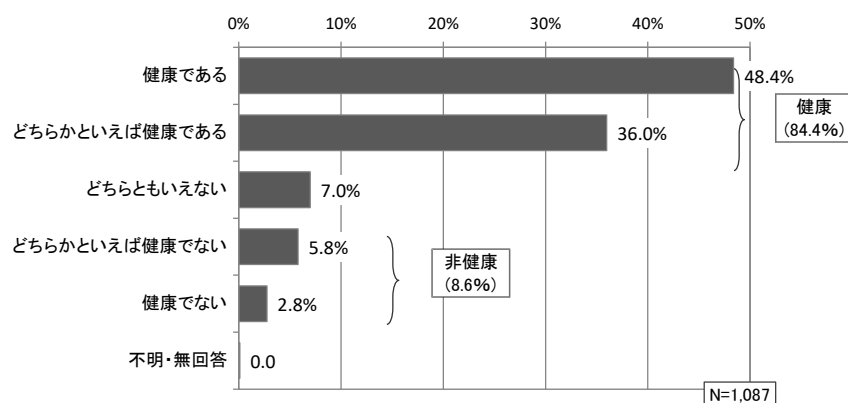
Ⅲ. 調査結果

2. 健康や体力に関することについて

問6 あなたの現在の健康状態を教えてください。(1つだけ)

- ※『健康』:「健康である」と「どちらかといえば健康である」の合計
- ※『非健康』:「どちらかといえば健康でない」と「健康でない」の合計

○現在の健康状態は、「健康である」が48.4%で最も多く、「どちらかといえば健康である」(36.0%)と合わせると『健康』が84.4%となっており、『非健康』の割合(8.6%)を大きく上回っている。

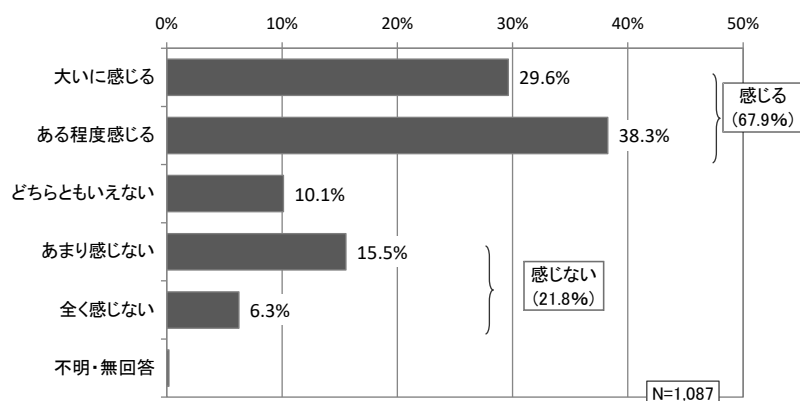


現在の健康状態

問7 あなたは、普段、運動不足を感じますか。(1つだけ)

- ※『感じる』:「大いに感じる」と「ある程度感じる」の合計
- ※『感じない』:「あまり感じない」と「全く感じない」の合計

○普段、運動不足を感じるかは、「ある程度感じる」が38.3%で最も多く、「大いに感じる」(29.6%)と合わせると『感じる』割合が67.9%となっており、『感じない』割合(21.8%)を大きく上回っている。

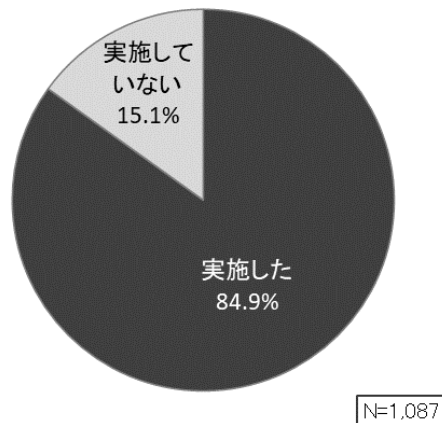


普段、運動不足を感じるか

3. 運動・スポーツの実施に関することについて（するスポーツ）

問8 この1年間にあなたが行った運動やスポーツがあれば全部あげてください。（複数回答）
ただし、職業として行ったものは除きます。

○この1年間に運動を『実施した』割合は、84.9%となっている。一方、「実施していない」と回答した割合は、15.1%となっている。



この1年間の運動・スポーツの実施有無

○「ウォーキング(散歩・ぶらぶら歩き・一駅歩きなど)」が71.2%で最も多く、以下、「体操(ラジオ体操・職場体操・美容体操等)」が23.0%、「階段昇降」が21.5%と続いている。

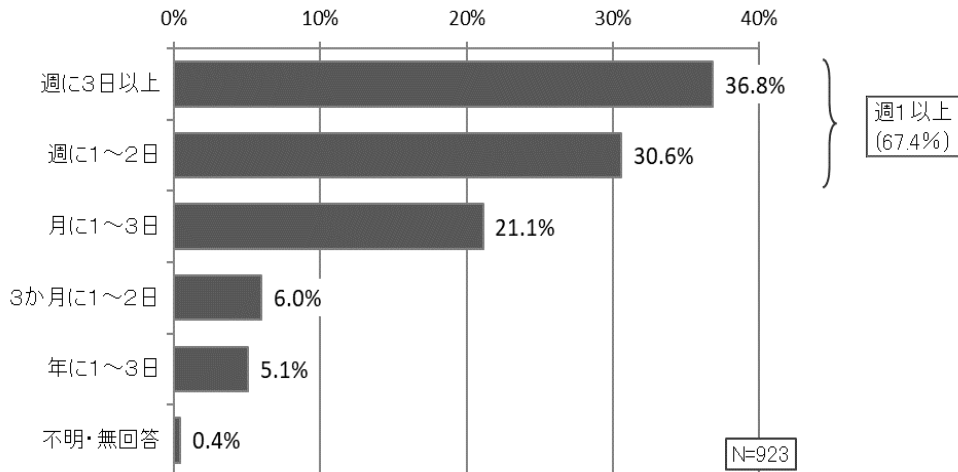


運動・スポーツの実施種目(全て)

(問8で「実施した(1-58のいずれかに回答)」と答えた方)

問9 その運動・スポーツを行った頻度はどれくらいでしたか。実施したものが複数ある場合は、それらを全て合わせて答えてください。(1つだけ)

○この1年間に『運動した』人が運動やスポーツを行った日数は、「週に3日以上」が36.8%で最も多く、「週に1～2日」(30.6%)と合わせると『週1以上』が67.4%となっている。

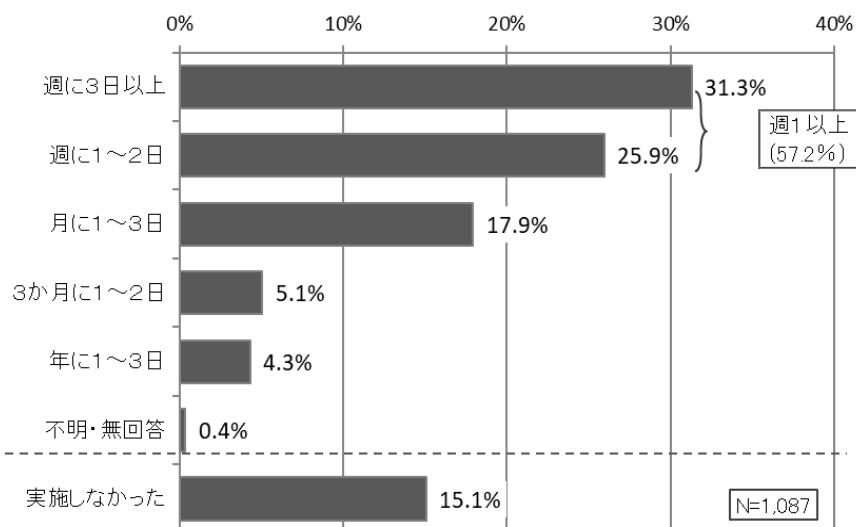


運動・スポーツの実施頻度

【府全体の成人が運動やスポーツを行った日数】

(問8で「実施していない」と答えた方を含む)

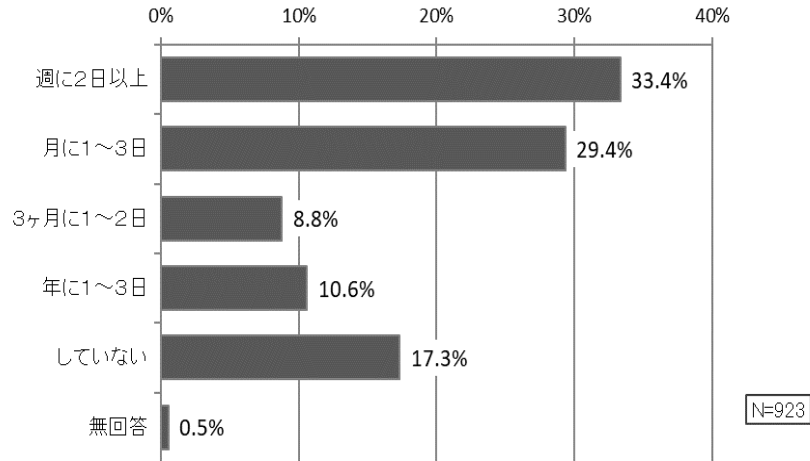
『週1以上』: 57.2% ※前回調査時(平成29年): 48.7%



運動・スポーツの実施頻度(「運動を実施していない」含む)

(問8で「実施した(1-58のいずれかに回答)」と答えた方)
 問10 この1年間に運動・スポーツを実施した日数のうち「汗をかく運動」を30分以上実施した日数を答えて下さい。(1つだけ)

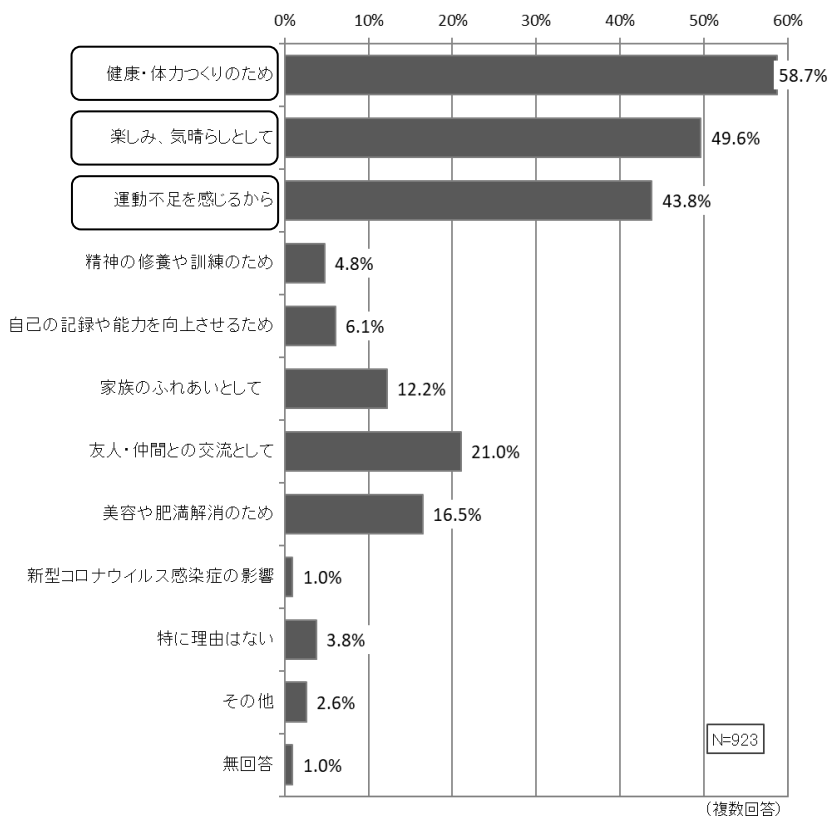
○「週に2日以上」が33.4%で最も多く、以下、「月に1～3日」が29.4%、「していない」が17.3%と続いている。



汗をかく運動を30分以上実施した頻度(日数)

(問8で「実施した(1-58のいずれかに回答)」と答えた方)
 問11 あなたがその運動・スポーツをしたのはどのような理由からですか。(複数回答可)

○運動やスポーツをした理由は、「健康・体力づくりのため」が58.7%で最も多く、以下、「楽しみ、気晴らしとして」が49.6%、「運動不足を感じるから」が43.8%と続いている。



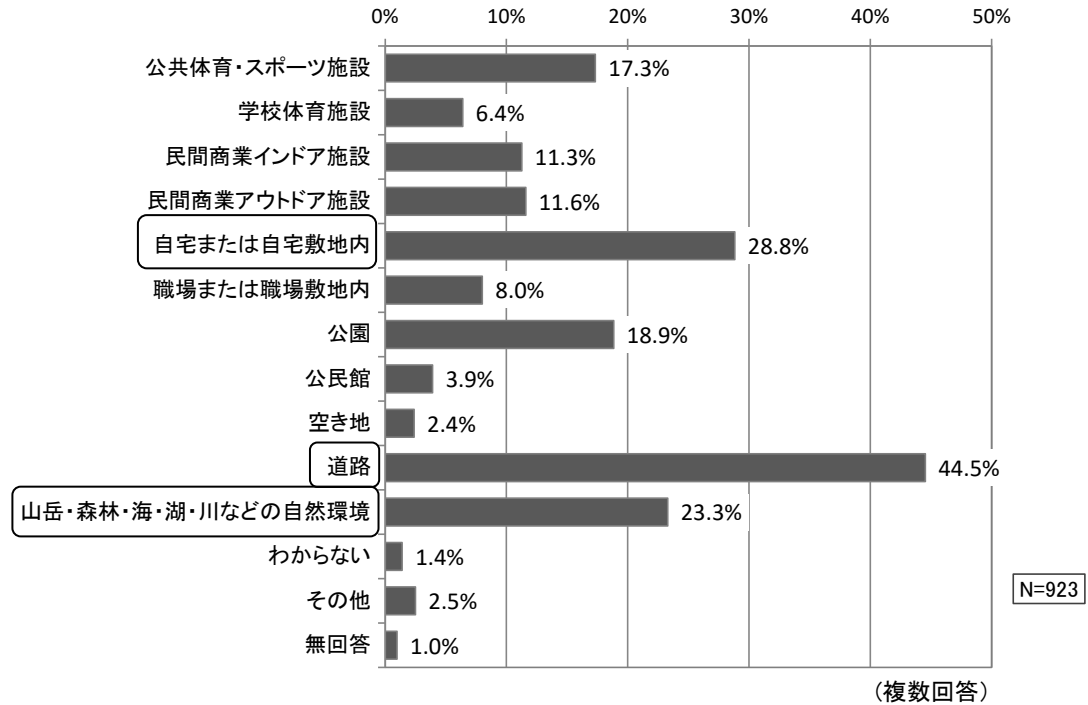
(複数回答)

運動・スポーツをした理由

(問8で「実施した(1-58のいずれかに回答)」と答えた方)

問12 この1年間に、運動・スポーツをどこで実施しましたか。(複数回答可)

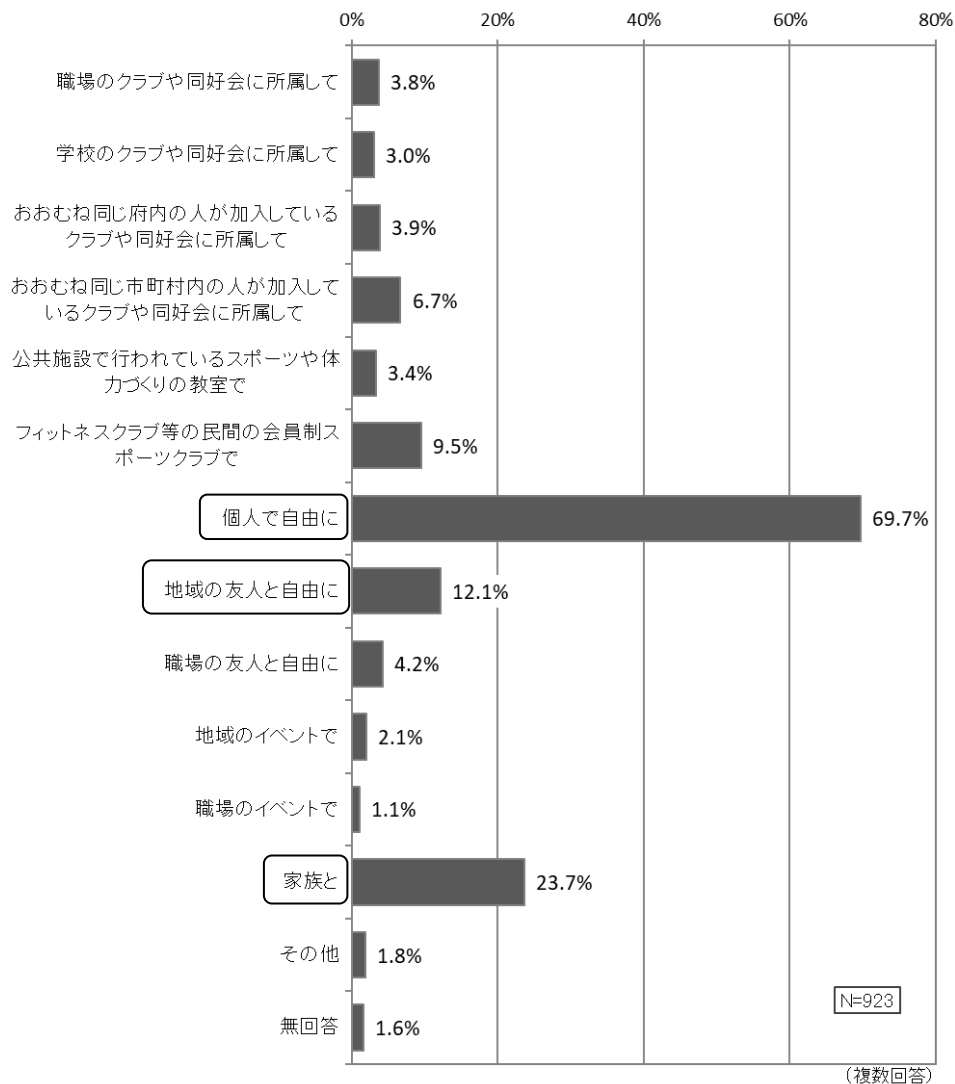
○「道路」が44.5%で最も多く、以下、「自宅または自宅敷地内」が28.8%、「山岳・森林・海・湖・川などの自然環境」が23.3%と続いている。



運動・スポーツの実地場所

(問8で「実施した(1-58のいずれかに回答)」と答えた方)
 問13 この1年間に、運動・スポーツをどのような形で実施しましたか。(複数回答可)

○「個人で自由に」が69.7%で最も多く、以下、「家族と」が23.7%、「地域の友人と自由に」が12.1%と続いている。

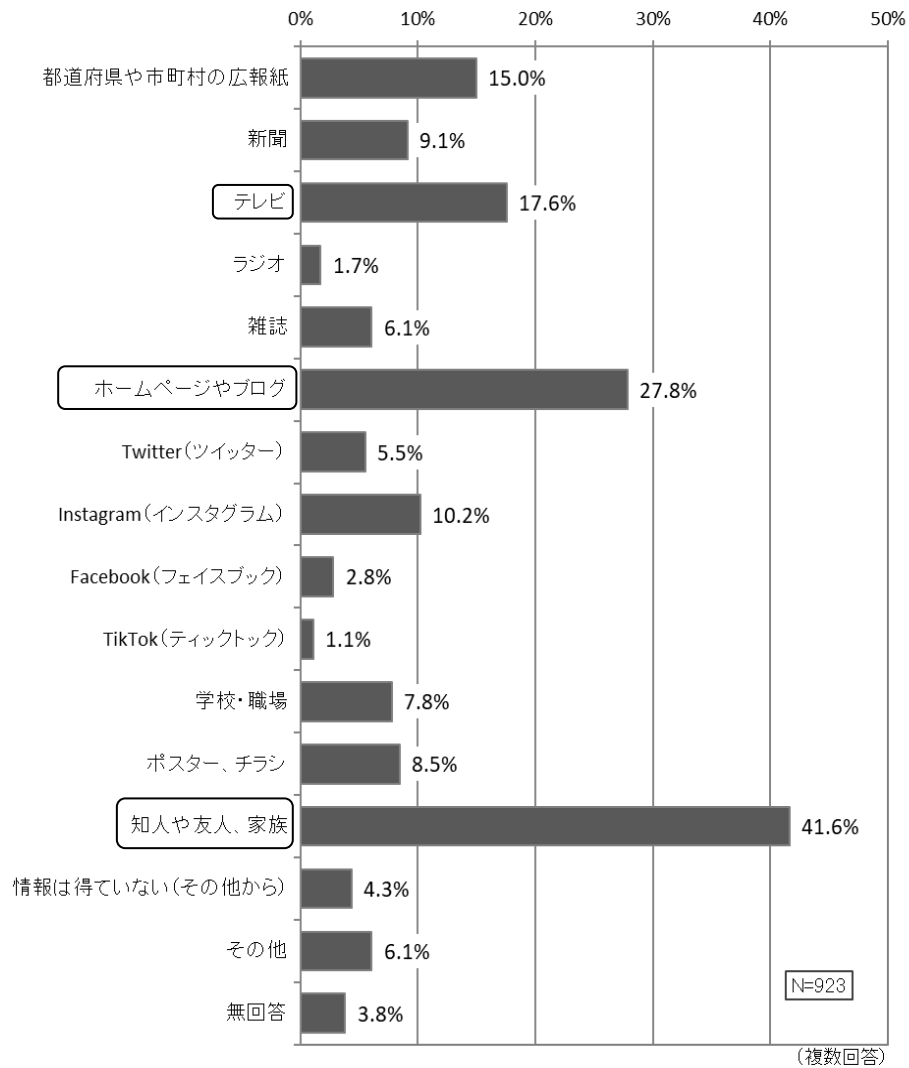


運動やスポーツの実施形態

(問8で「実施した(1-58のいずれかに回答)」と答えた方)

問14 あなたは、スポーツを実施する時に、その情報をどこから得ていますか。(複数回答可)

○運動やスポーツ実施の情報を得る方法は、「知人や友人、家族」が41.6%で最も多く、以下、「ホームページやブログ」が27.8%、「テレビ」が17.6%と続いている。

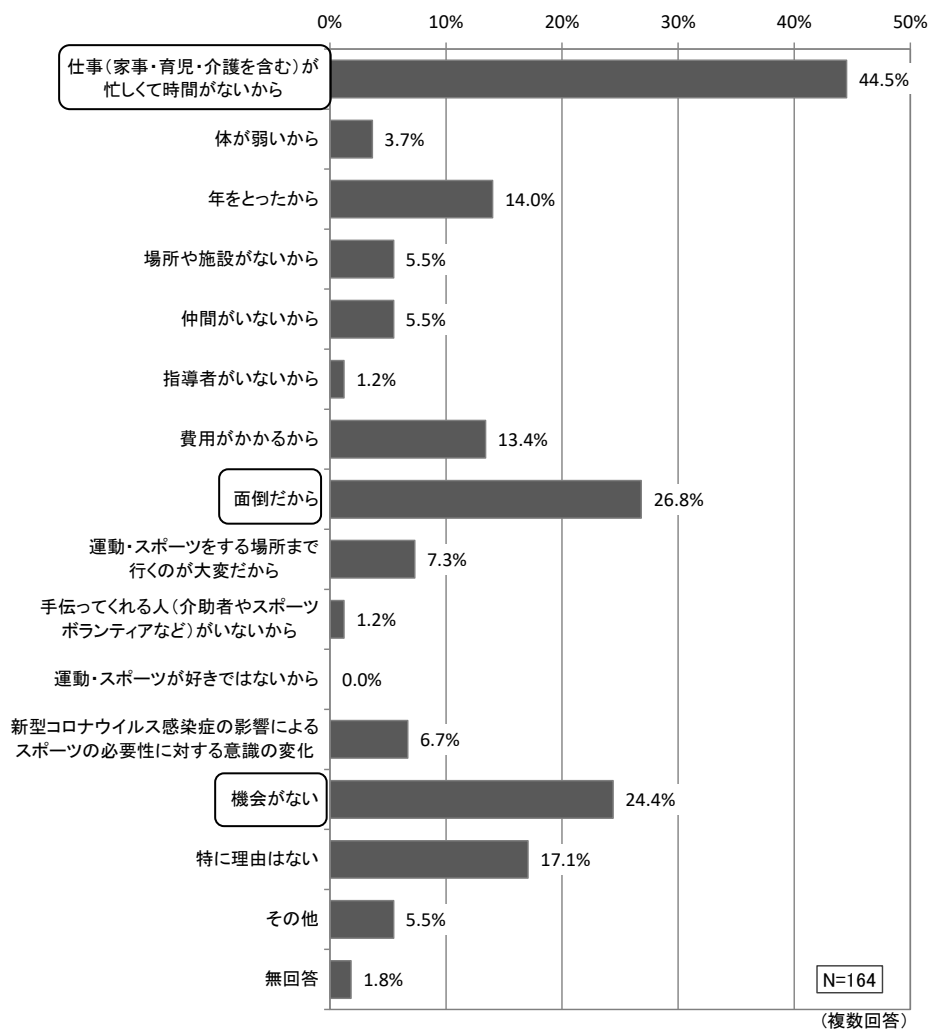


情報を得る方法 (するスポーツ)

(問8で「59実施していない」と答えた方)

問15 運動・スポーツをしなかったのはどのような理由からですか。(複数回答可)

○「仕事(家事・育児・介護を含む)が忙しくて時間がないから」が44.5%で最も多く、以下、「面倒だから」が26.8%、「機会がない」が24.4%と続いている。

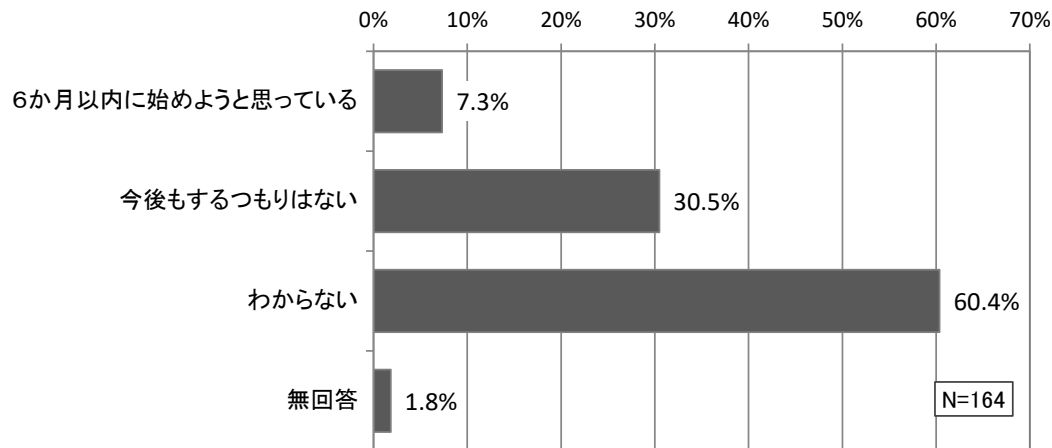


運動・スポーツをしなかった理由

(問8で「59実施していない」と答えた方)

問16 スポーツの実施について、今後の予定を教えてください。(1つだけ)

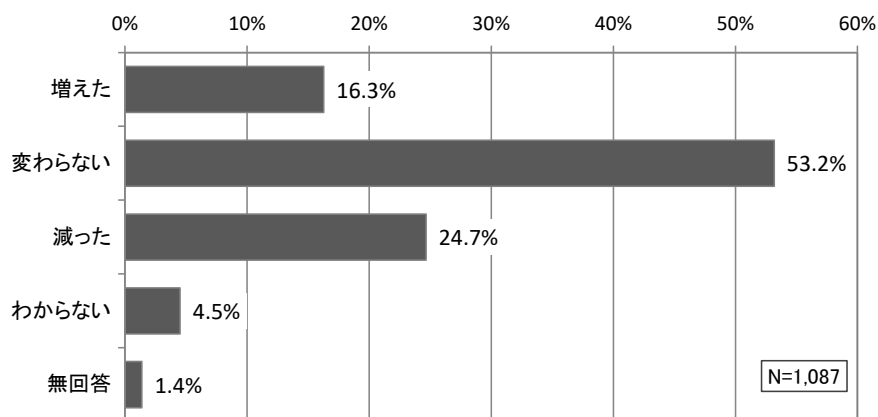
○今後の運動・スポーツの実施予定は、「わからない」が60.4%で最も多く、一方、「6か月以内に始めようと思っている」は7.3%にとどまっている。



今後の運動・スポーツの実施予定

問17 あなたは1年前と比べて運動・スポーツを実施する頻度は増えましたか、減りましたか。(1つだけ)

○1年前と比較した運動実施頻度の変化は、「変わらない」が53.2%で最も高い。以下、「減った」が24.7%、「増えた」が16.3%と続いている。

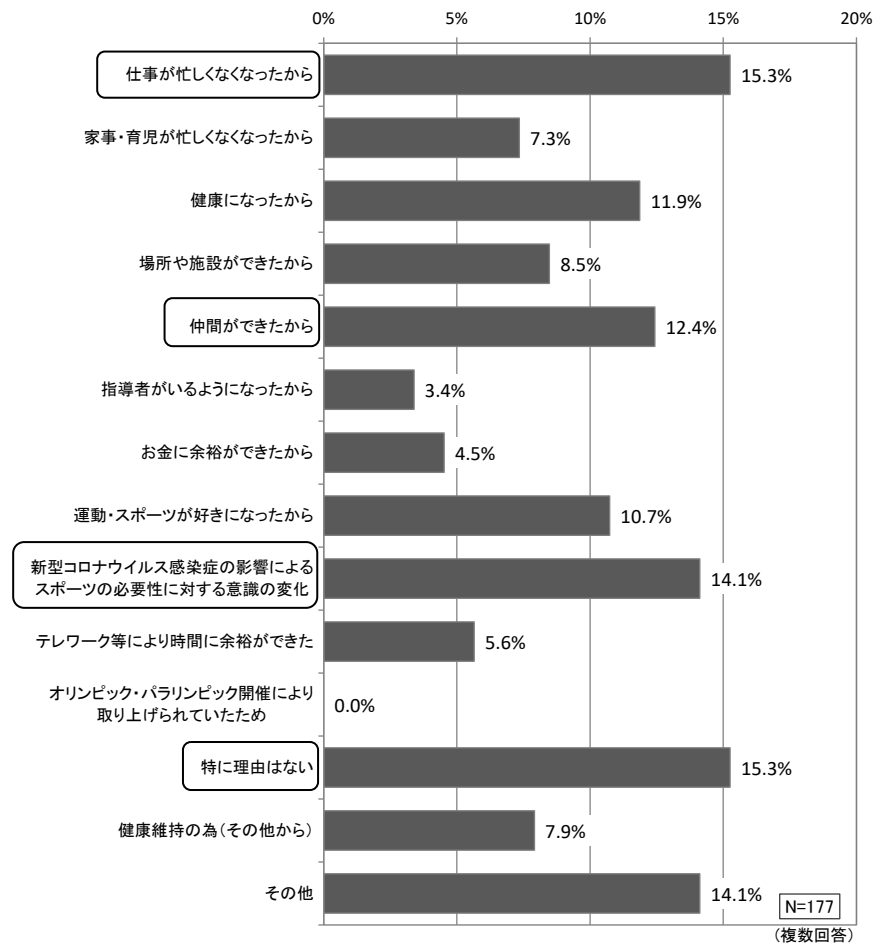


1年前と比較した運動実施頻度の変化

(問17で「1 増えた」と答えた方)

問18 1年前と比べて運動・スポーツを実施する頻度が増えた理由は何ですか。(複数回答可)

○「仕事が忙しくなくなったから」および「特に理由はない」が、15.3%と最も高くなっている。以下、「新型コロナウイルス感染症の影響によるスポーツの必要性に対する意識の変化」が14.1%、「仲間ができたから」が12.4%と続いている。

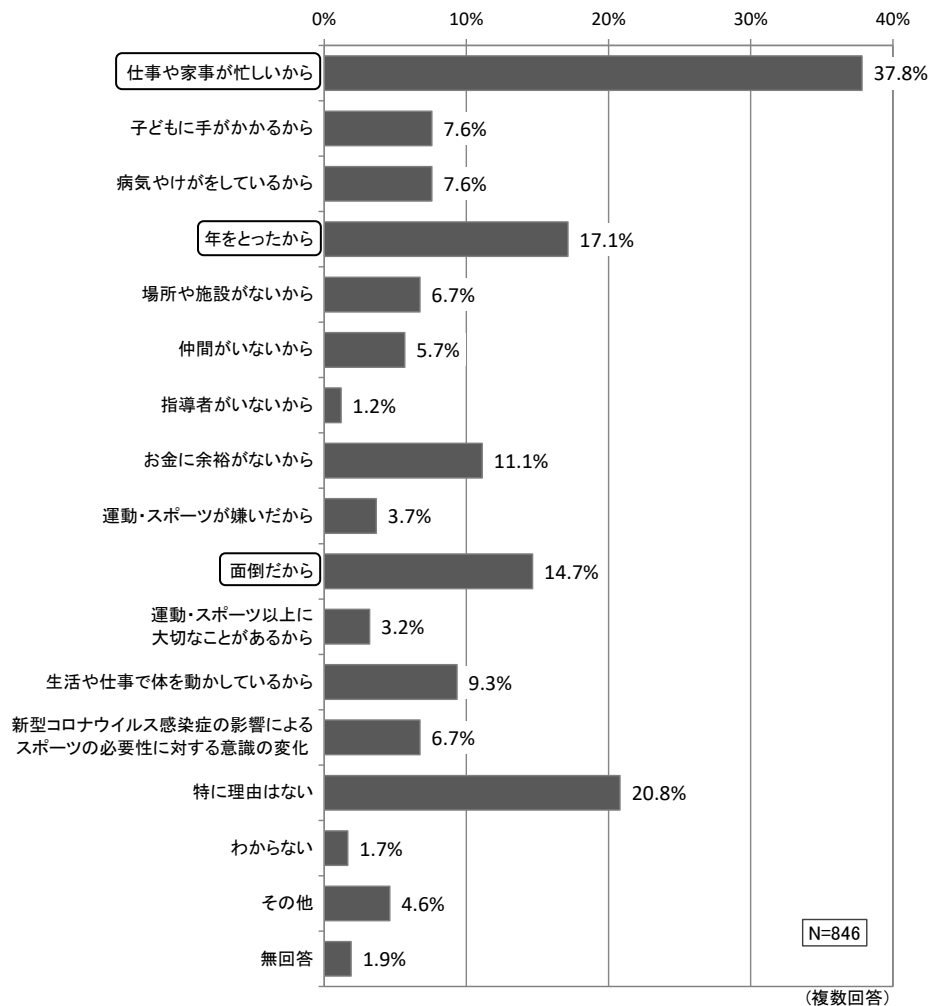


スポーツ実施が増えた理由

(問17で「2変わらない、3減った」と答えた方)

問19 1年前と比べて運動・スポーツを実施する頻度が減ったまたはこれ以上増やせない(増やさない)理由は何ですか。(複数回答可)

○「仕事や家事が忙しいから」が、37.8%と最も高くなっている。以下、「年をとったから」が17.1%、「面倒だから」が14.7%と続いている。

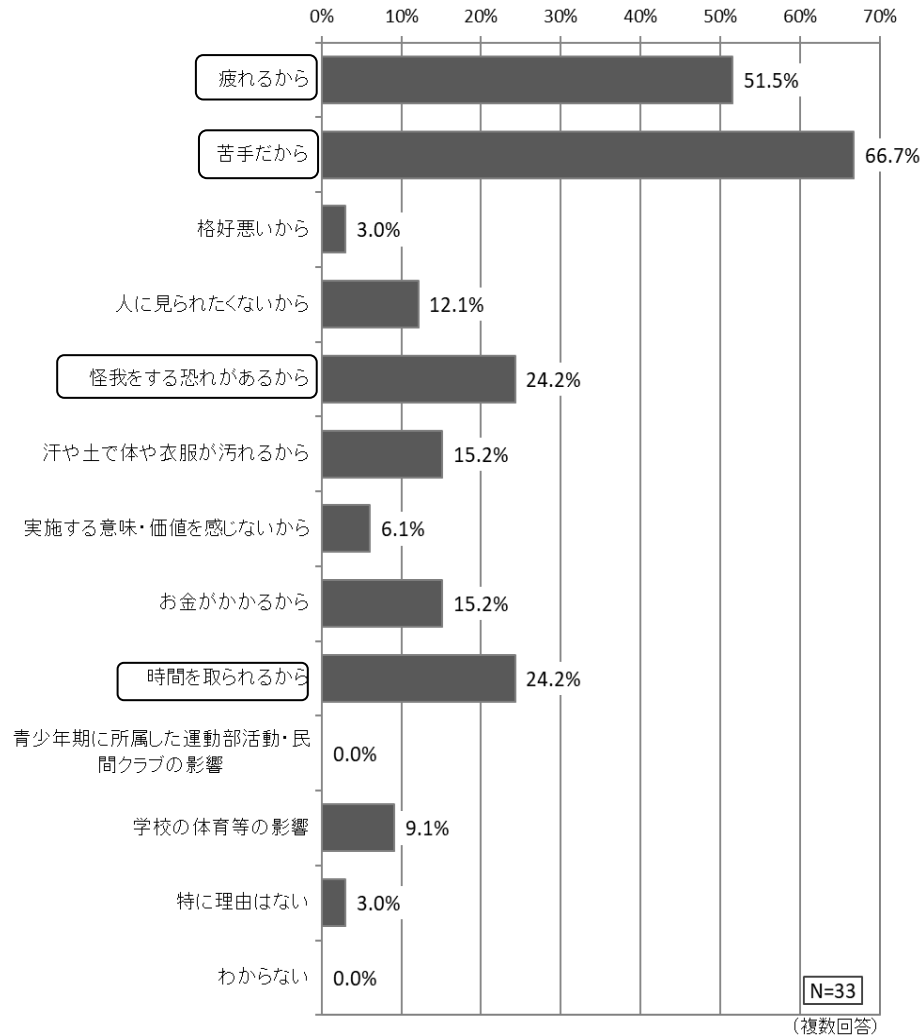


運動・スポーツの実施が減った・変わらない理由

(問19で「9 運動・スポーツが嫌いだから」と回答した者のみ)

問20 あなたが運動・スポーツが嫌いな理由は何ですか。(複数回答可)

○運動・スポーツが嫌いな理由は、「苦手だから」が、66.7%と最も高くなっている。以下、「疲れるから」が51.5%、「時間を取られるから」および「怪我をする恐れがあるから」が24.2%と続いている。

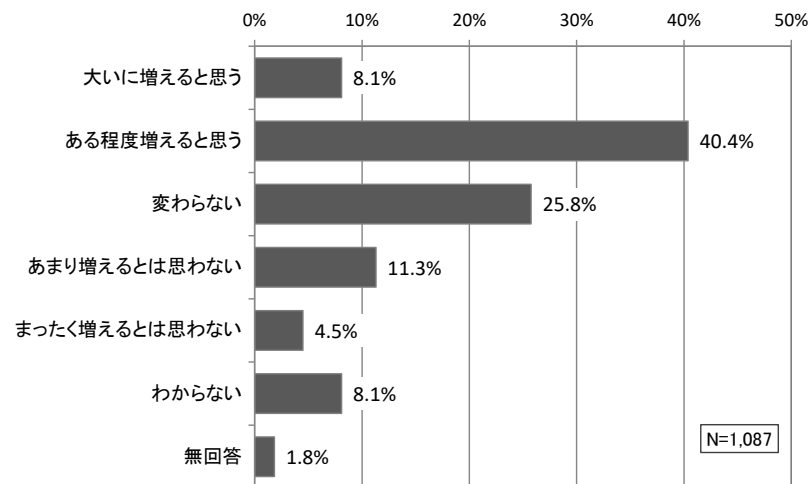


運動やスポーツが嫌いな理由

問21 あなたの職場や地域で、運動・スポーツを習慣化する取組（※）があれば、今より運動・スポーツを実施する頻度は増えると思いますか。（1つだけ）

※階段利用や一駅歩き、自転車通勤の推奨、職場運動会の実施、職場内へのストレッチスペースの設置、体操・ストレッチ時間の設定、椅子の代わりにバランスボールを利用等

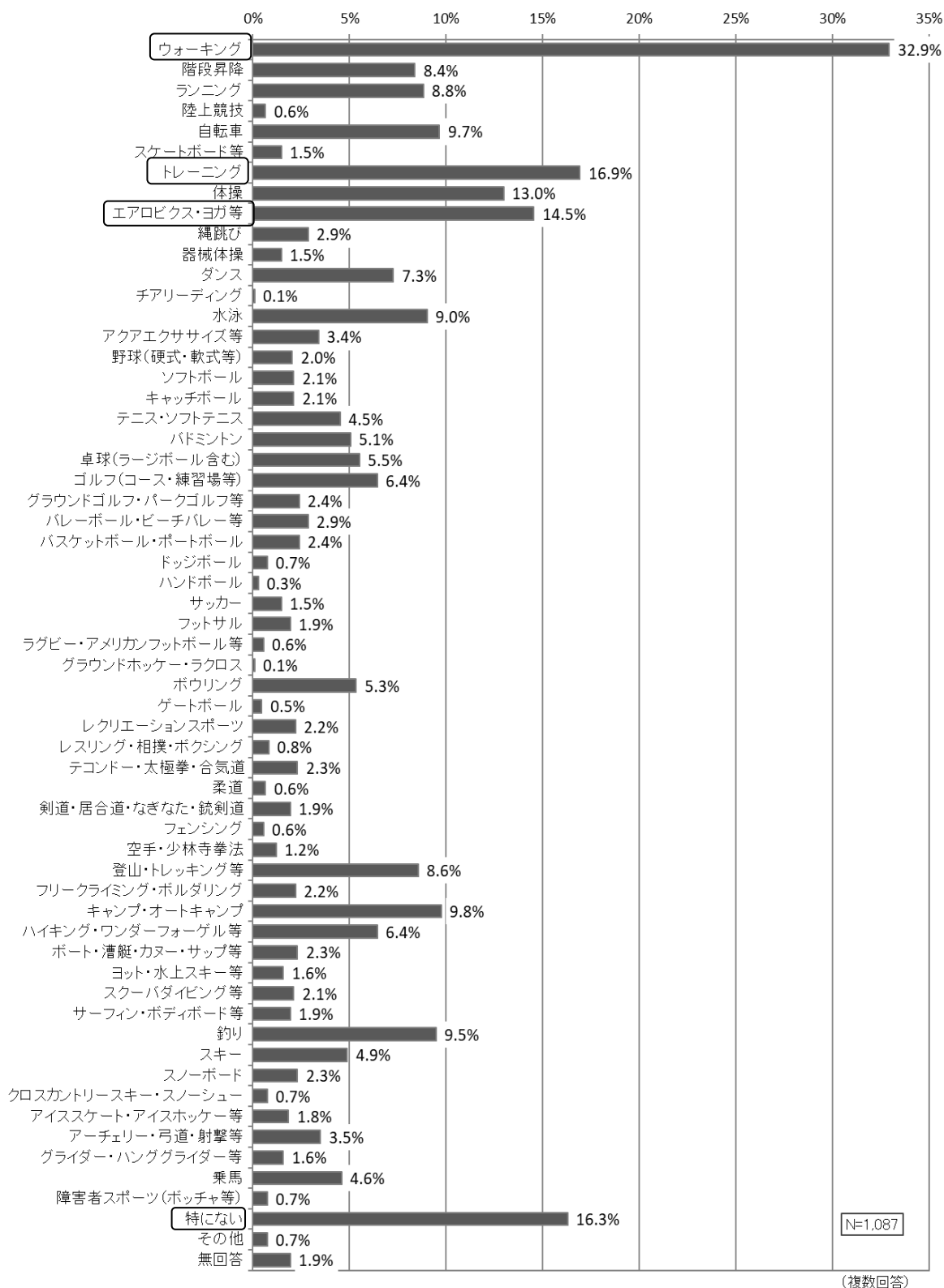
○「ある程度増えると思う」が40.4%と最も多く、以下、「変わらない」が25.8%、「あまり増えると思わない」が11.3%と続いている。



職場や地域で運動・スポーツを習慣化する取組がスポーツ実施頻度への影響

問22 今後あなたが新たに始めてみたい運動やスポーツがあればこの中からいくつでもあげてください。(複数回答可)

○「ウォーキング」が32.9%で最も多く、以下、「トレーニング」が16.9%、「エアロビクス、ヨガ等」が14.5%と続いている。一方、「特にない」と回答した人は16.3%となっている。

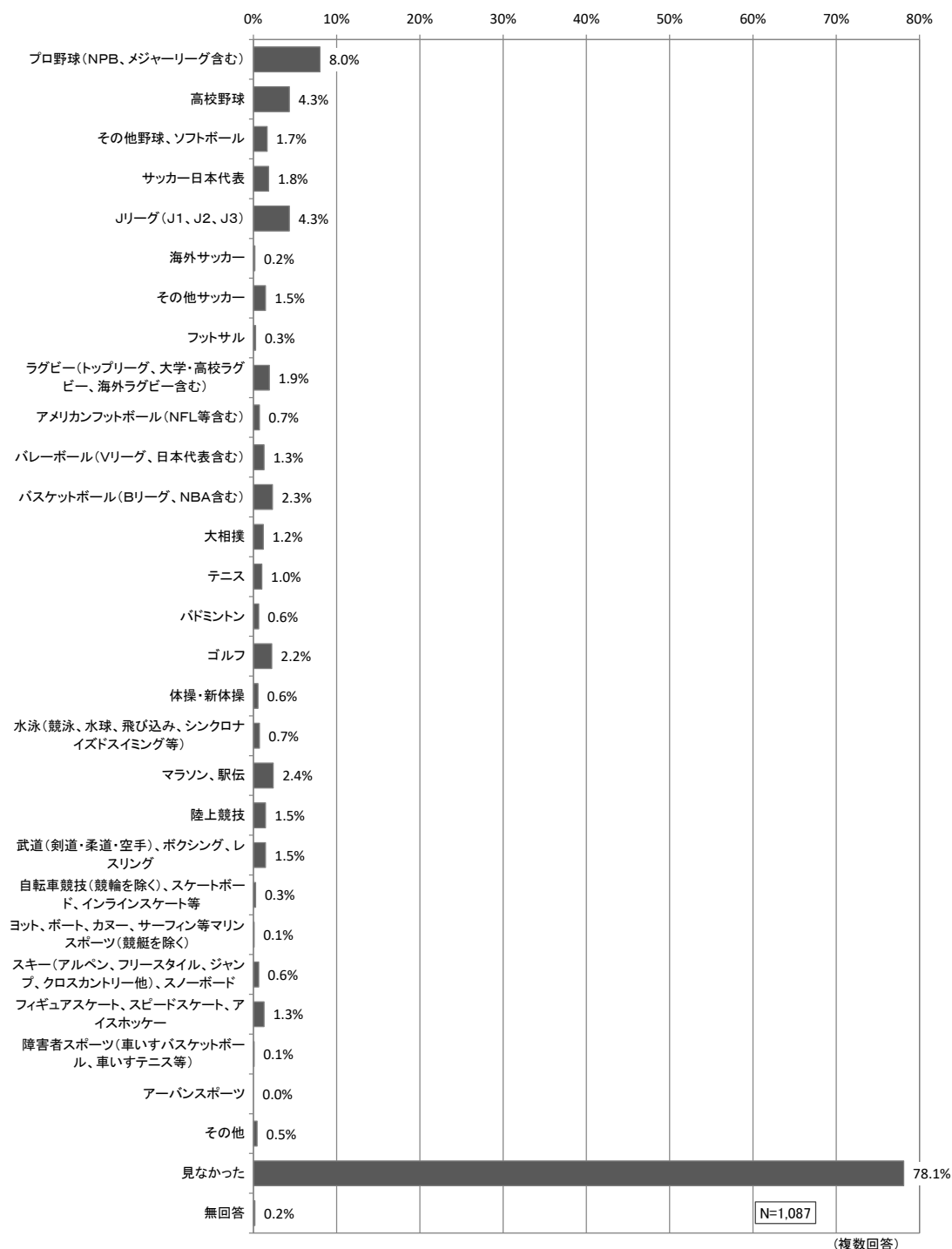


新たにやってみたい運動・スポーツの種目

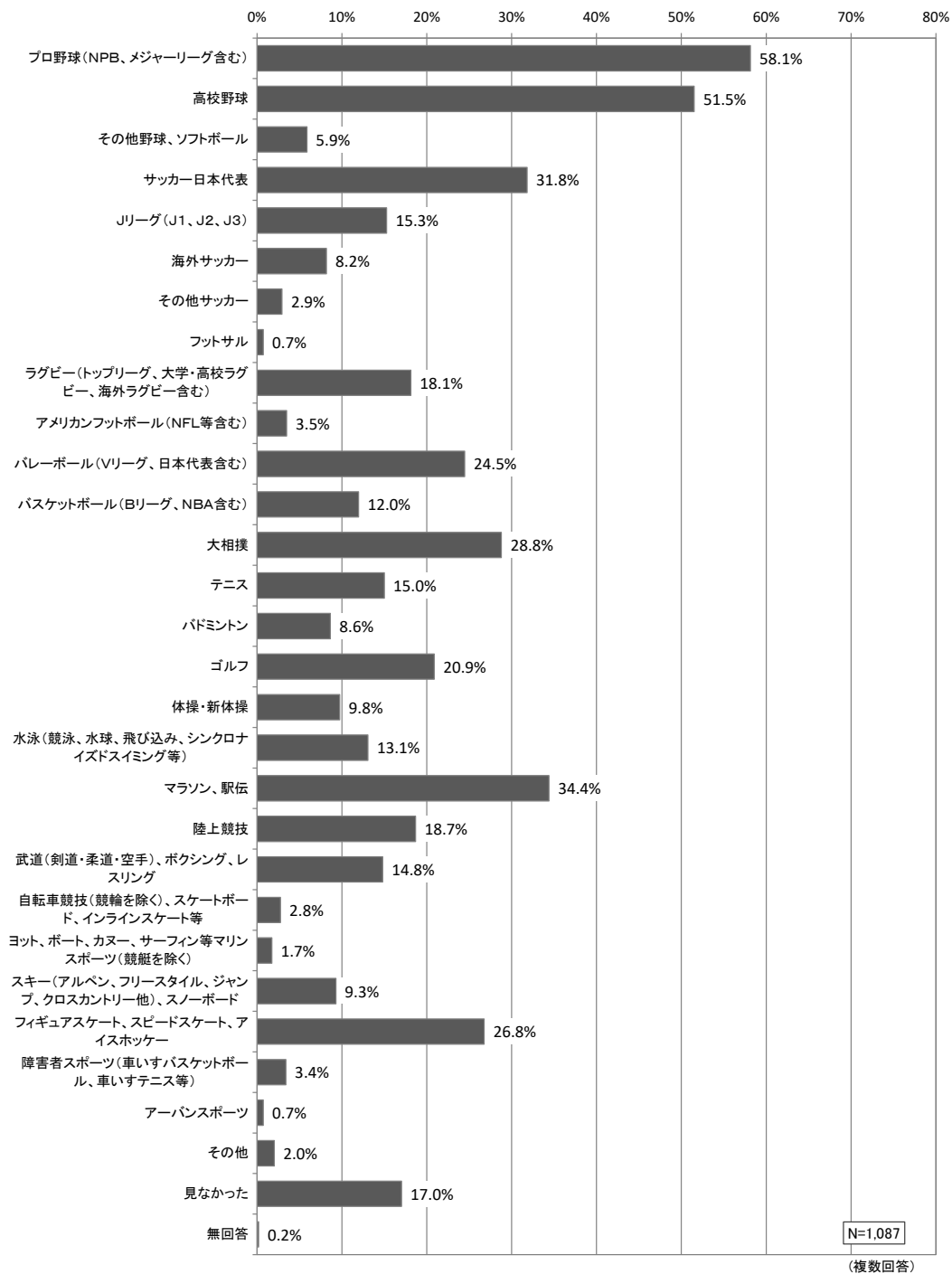
4. 運動やスポーツの実施に関することについて（みるスポーツ）

問23 あなたは、この1年間にどのようなスポーツを観戦しましたか。（東京オリンピック・パラリンピックを除く）（複数回答可）

○「プロ野球（NPB、メジャーリーグ含む）」が8.0%で最も多く、以下、「高校野球」、「Jリーグ（J1、J2、J3）」が4.3%と続いている。一方、「見なかった」と回答した人は78.1%となっている。



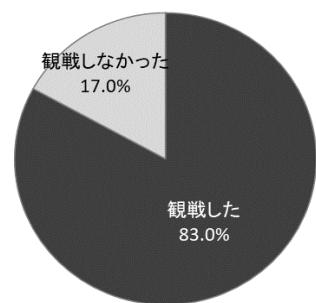
スポーツの観戦状況（直接現地で）



スポーツの観戦状況 (テレビやインターネットで)

○この1年間にスポーツを『観戦した』割合は、83.0%となっている。一方、『しなかった』と回答した割合は、17.0%となっている。

※参考：前回調査時 (平成 29 年) 『観戦した』 91.6%
『しなかった』 7.2%

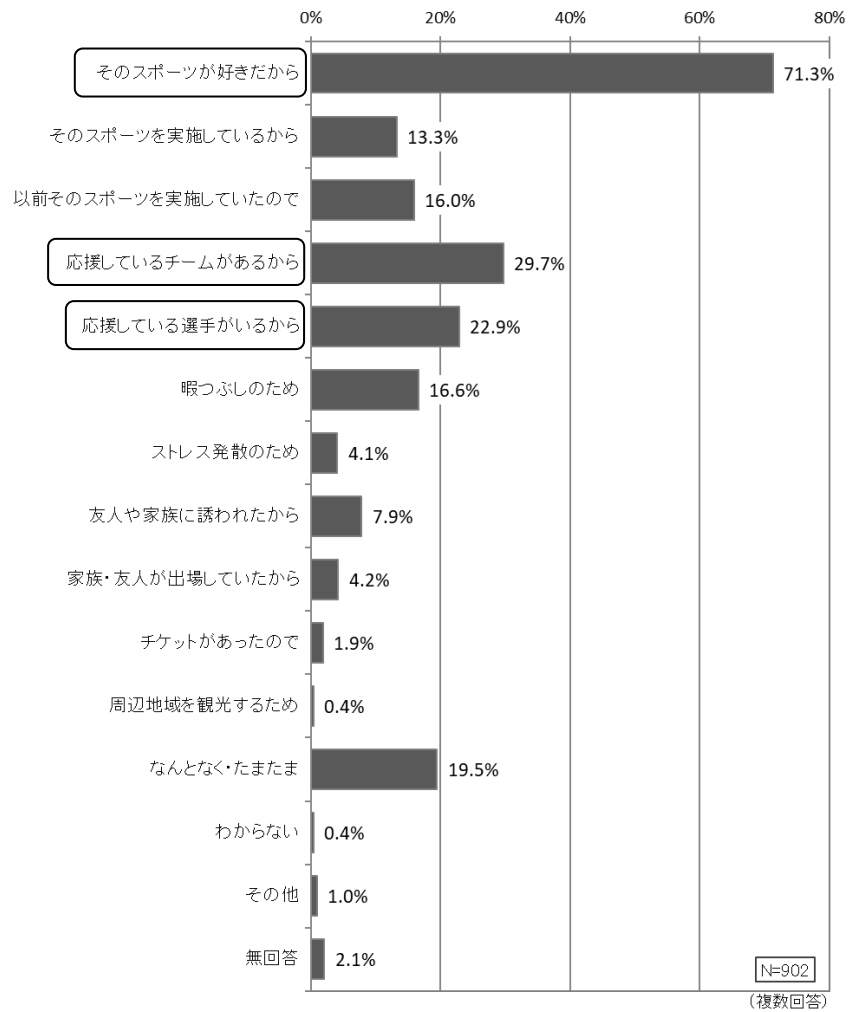


(媒体関係なくスポーツを観た(問23で1-28と回答した)方のみ)

問24 あなたがスポーツを観戦したのはどのような理由からですか。(複数回答可)

※直接現地での観戦やテレビ・インターネット(SNS等も含む)での観戦も含めてお答えください。

○「そのスポーツが好きだから」が71.3%で最も多く、以下、「応援しているチームがあるから」が29.7%、「応援している選手がいるから」が22.9%と続いている。



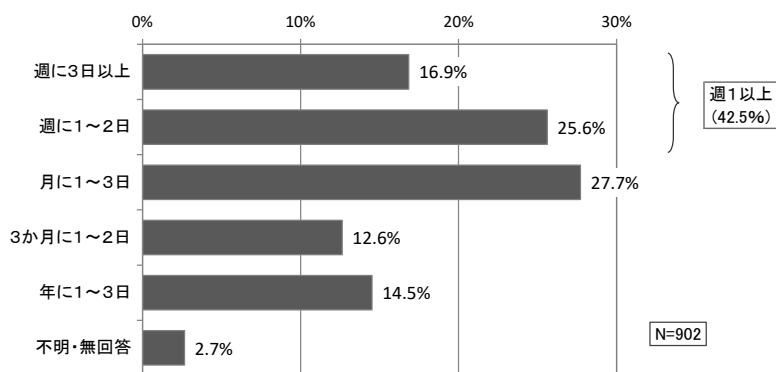
観戦した理由

(媒体関係なくスポーツを観た(問23で1-28と回答した)方のみ)

問25 この1年間にスポーツ観戦した頻度はどれくらいでしたか。(1つだけ)

※直接現地での観戦やテレビ・インターネット(SNS等も含む)での観戦も含めてお答えください。

○この1年間にスポーツを観戦した頻度は、「月に1～3日」が27.7%で最も多い。「週に3日以上」(16.9%)と、「週に1～2日」(25.6%)と合わせると『週1以上』が42.5%となっている。

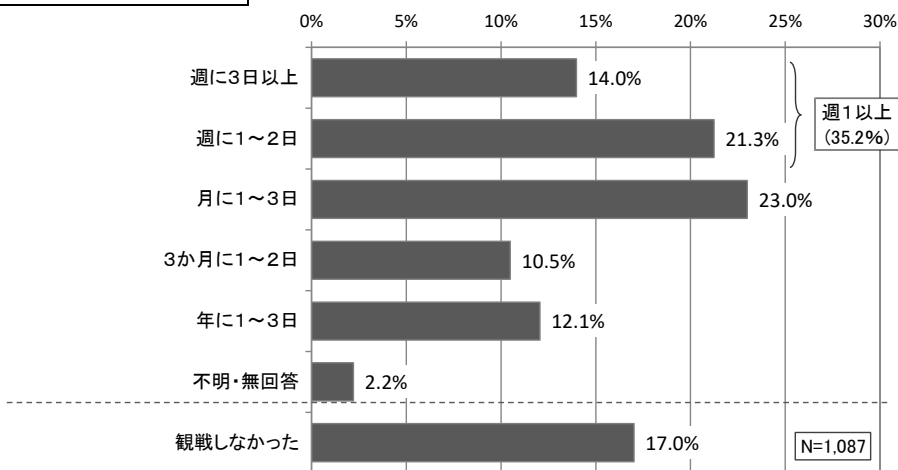


観戦した頻度 (回数)

【府全体の成人が運動やスポーツを観戦した日数】

(問23で「見なかった」と答えた方を含む)

『週1以上』: 35.2%

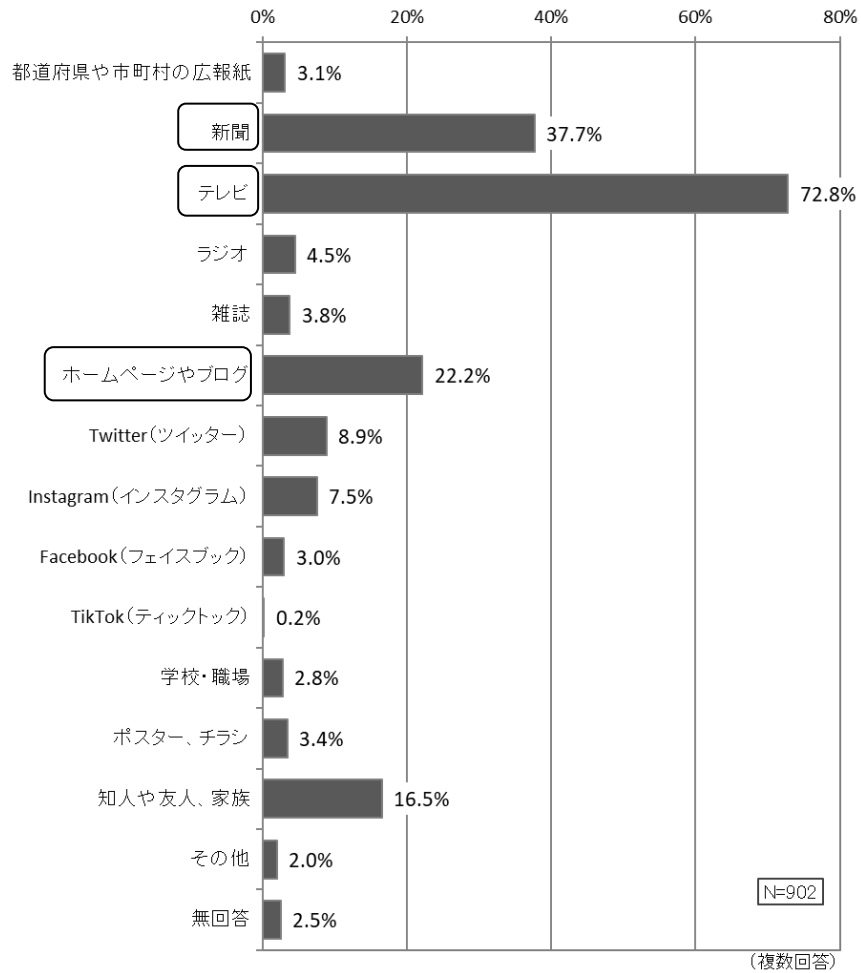


観戦した頻度 (回数、「見なかった」含む)

(媒体関係なくスポーツを観た(問23で1-28と回答した)方のみ)

問26 あなたは、スポーツを観戦する時に、その情報をどこから得ていますか。(複数回答可)

○「テレビ」が72.8%で最も多く、以下、「新聞」が37.7%、「ホームページやブログ」が22.2%と続いている。

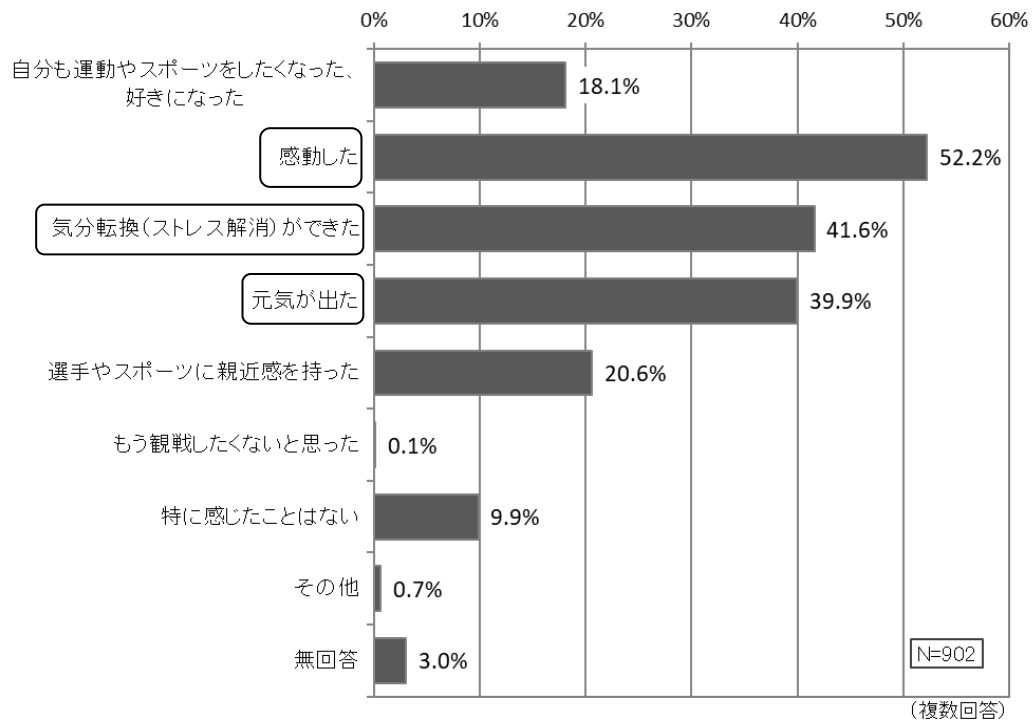


情報を得る方法（みるスポーツ）

(媒体関係なくスポーツを観た(問23で1-28と回答した)方のみ)

問27 あなたは、スポーツを観戦してどのようなことを感じましたか。(複数回答可)
※直接現地での観戦やテレビ・インターネット(SNS等も含む)での観戦も含めてお
答えください。

○「感動した」が52.2%で最も多く、以下、「気分転換(ストレス解消)ができた」が41.6%、
「元気が出た」が39.9%と続いている。

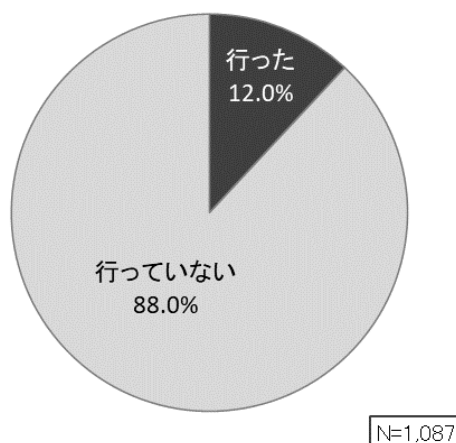


観戦して感じたこと

5. 運動やスポーツの実施に関することについて（ささえるスポーツ）

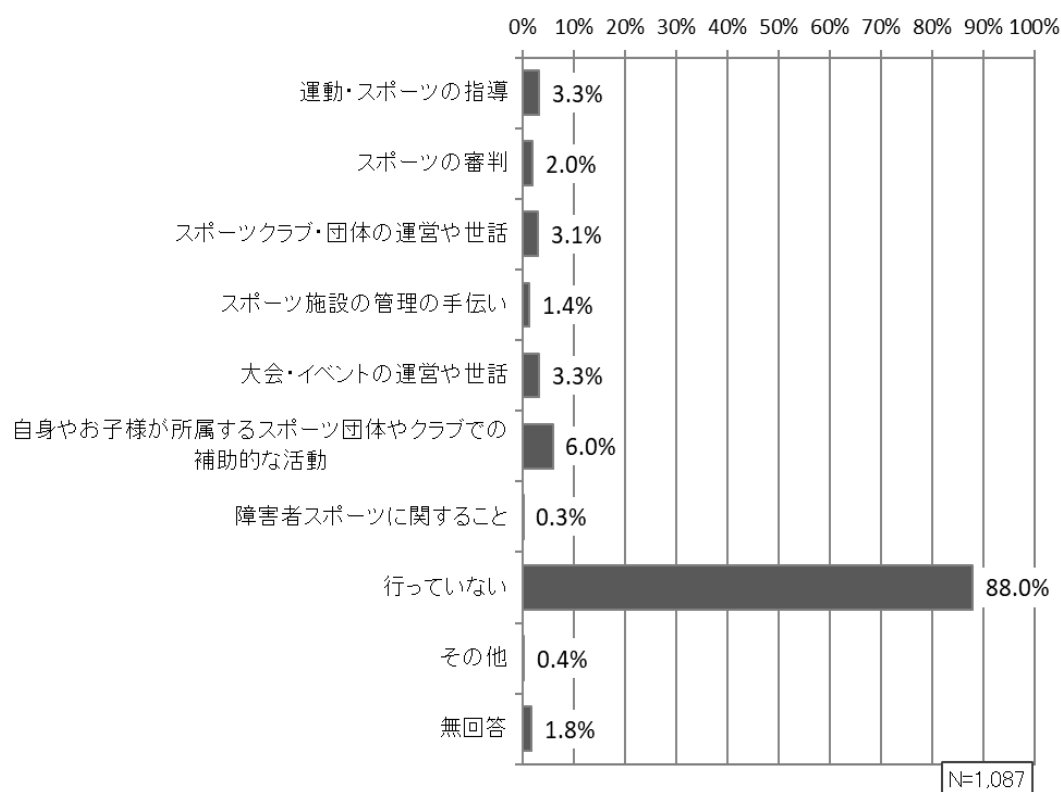
問28 この1年間に、スポーツの指導やスポーツ大会の運営、自身やお子さんが所属するスポーツクラブの手伝い（練習や大会での参加者の送迎、参加者の飲料や弁当の準備等）など運動・スポーツに関するボランティア活動を行いましたか。（複数回答可）

○ボランティアの実施については、「行っていない」が88.0%を占めており、『行った』割合は、12.0%にとどまっている。



ボランティアの実施について

※参考：前回調査時（平成29年） 『行った』7.8% 「行っていない」89.6%

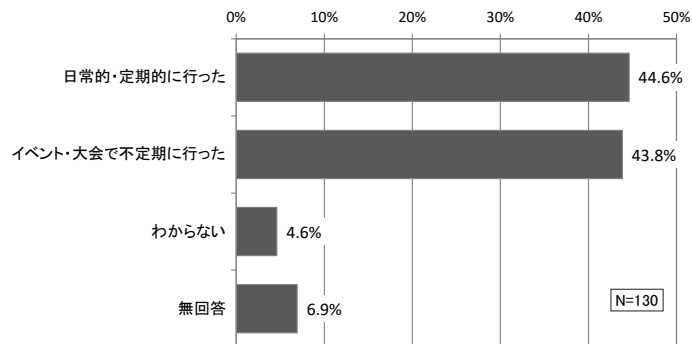


（複数回答）

(ボランティアをした(問28で1-8と回答した)方のみ)

問29 そのボランティアにはどのように行っていましたか。(1つだけ)

○「日常・定期的に行った」が44.6%、「イベント・大会で不定期に行った」が43.8%となっており、この2つに分かれている。

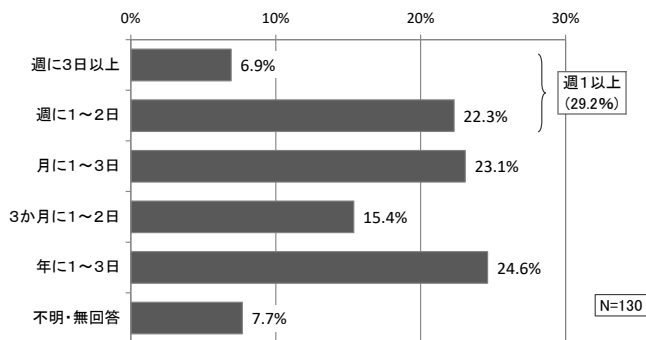


ボランティアの実施形態

(ボランティアをした(問28で1-8と回答した)方のみ)

問30 この1年間に運動・スポーツに関するボランティア活動を行った頻度はどれくらいでしたか。当てはまるものを選んでください。(1つだけ)

○ボランティアを実施した頻度は、「年に1～3日」が24.6%で最も多い。「週に3日以上」(6.9%)と、「週に1～2日」(22.3%)と合わせると『週1以上』が29.2%となっている。

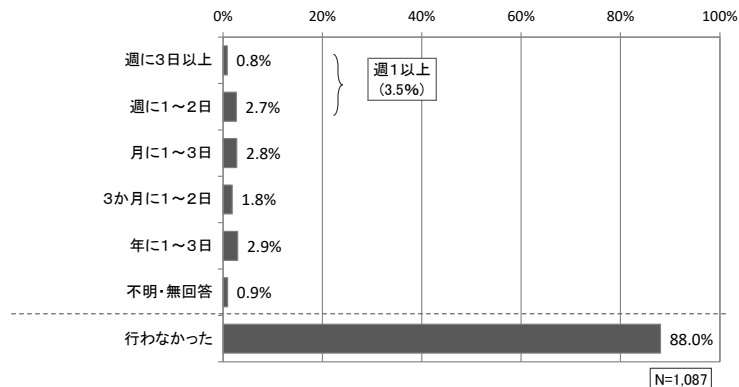


ボランティアの実施頻度 (日数)

【府全体の成人がボランティア活動を行った日数】

(問28で「行っていない」と答えた方を含む)

『週1以上』: 3.5%

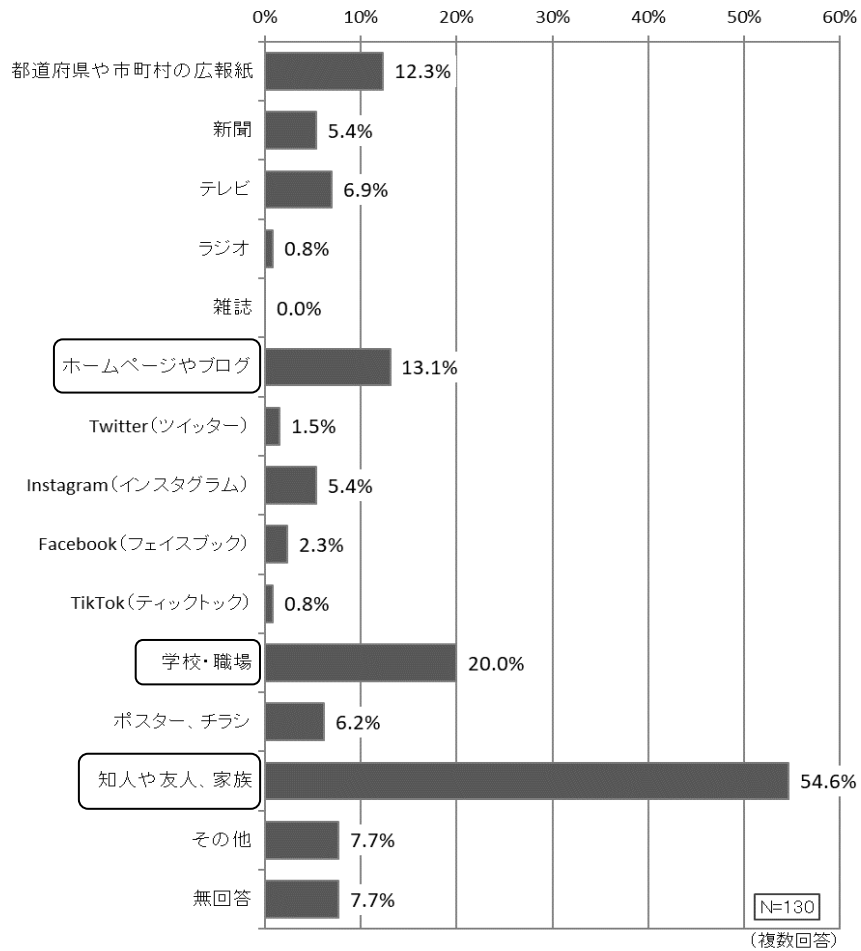


ボランティアの実施頻度 (日数、「行っていない」含む)

(ボランティアをした(問28で1-8と回答した)方のみ)

問31 あなたは、運動・スポーツに関するボランティア活動について、その情報をどこから得ていますか。(複数回答可)

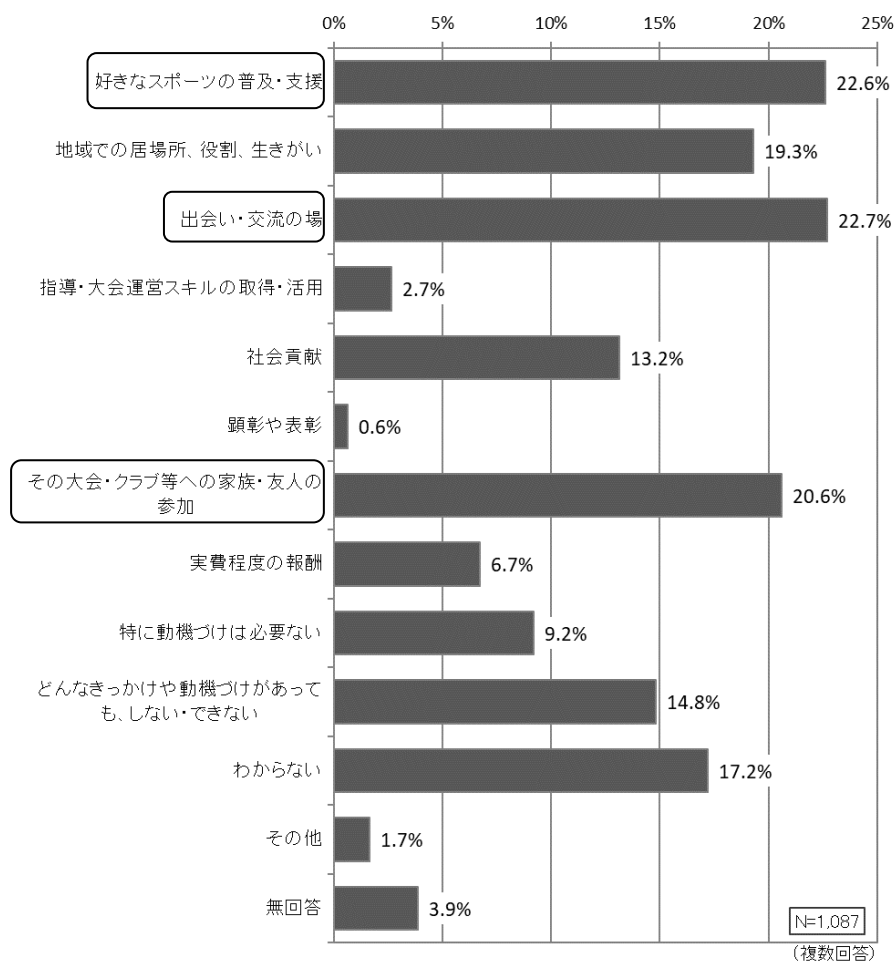
○ボランティア活動の情報を得る方法は、「知人や友人、家族」が54.6%で最も多く、以下、「学校・職場」が20.0%、「ホームページやブログ」が13.1%と続いている。



情報を得る方法 (ささえるスポーツ)

問32 どんなきっかけや動機づけ（モチベーション）があれば、スポーツに関するボランティア活動を行ったり続けたりすると思いますか。この中からいくつでもあげてください。（複数回答可）

○「出会い・交流の場」が22.7%で最も多く、以下、「好きなスポーツの普及・支援」が22.6%、「その大会・クラブ等への家族・友人の参加」が20.6%と続いている。

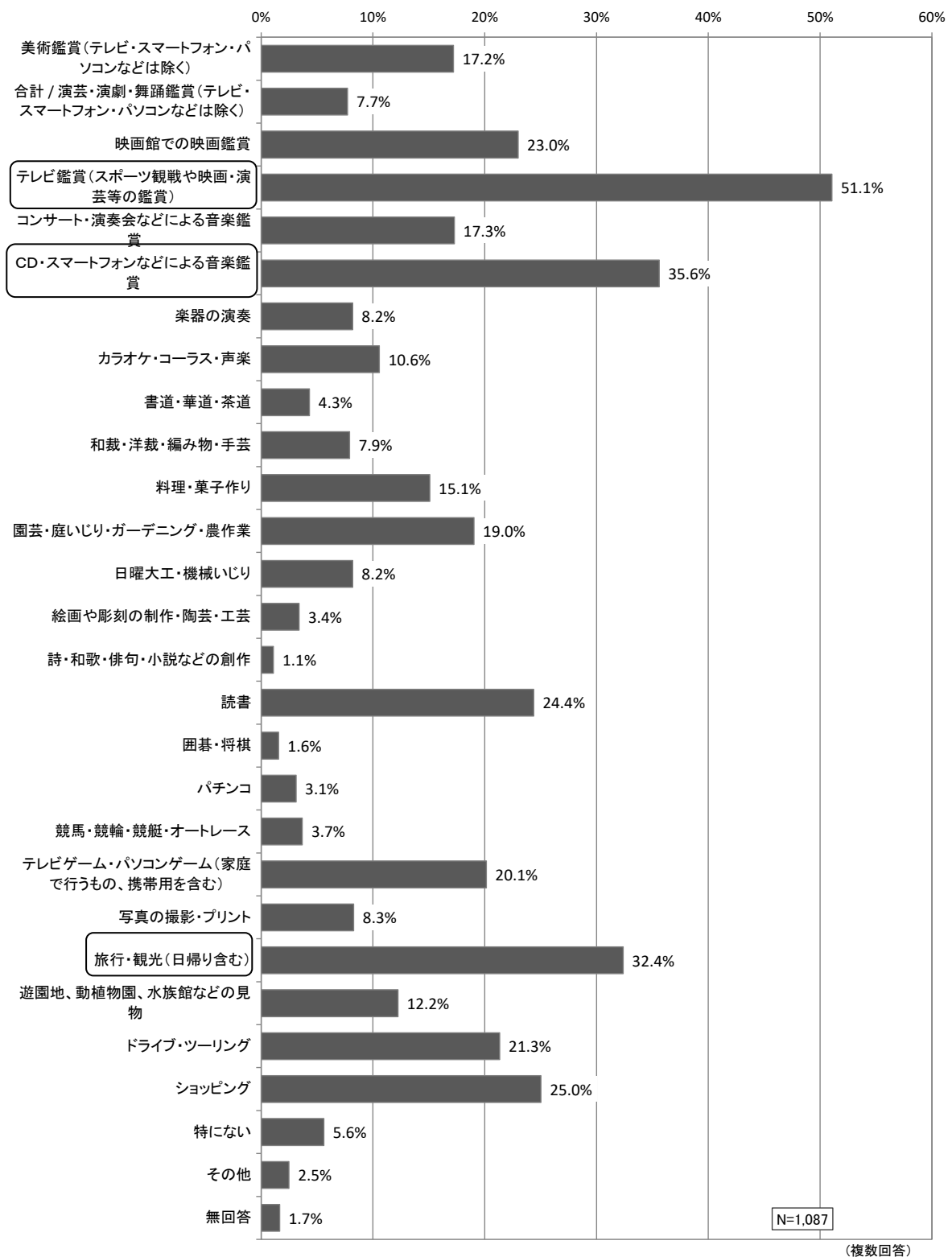


ボランティアへの動機づけについて

6. 身近なスポーツに関すること（生涯スポーツ）

問33 運動・スポーツを実施する以外に日頃行っている趣味・娯楽は何ですか。（複数回答可）

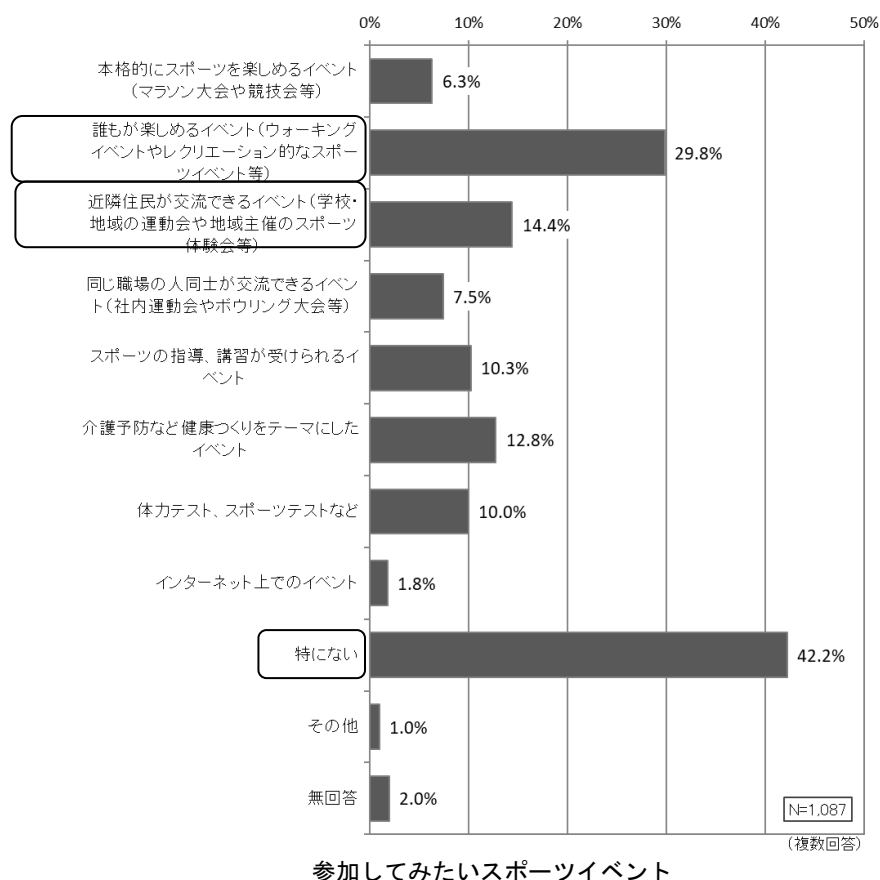
○「テレビ鑑賞（スポーツ観戦や映画・演芸等の鑑賞）」が51.1%で最も多く、以下、「CD・スマートフォンなどによる音楽鑑賞」が35.6%、「旅行・観光（日帰り含む）」が32.4%と続いている。



運動・スポーツ以外の趣味や娯楽

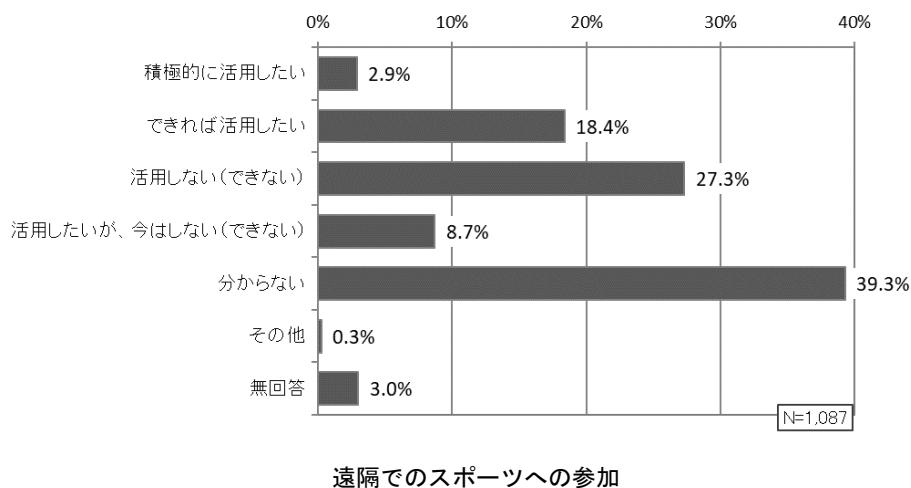
問34 今後、あなたが参加したいスポーツイベントは何がありますか。(複数回答可)

○「特にない」が42.2%で最も多く、以下、「誰もが楽しめるイベント(ウォーキングイベントやレクリエーション的なスポーツイベント等)」が29.8%、「近隣住民が交流できるイベント(学校・地域の運動会や地域主催のスポーツ体験会等)」が14.4%と続いている。



問35 運動・スポーツにインターネットなどを活用して、遠隔で参加することができるようになれば、活用しますか。(1つだけ)

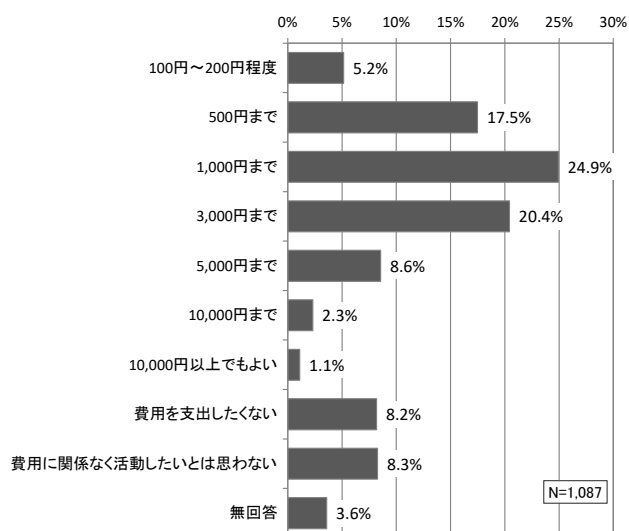
○参加したいスポーツイベントは、「分からない」が39.3%で最も多く、以下、「活用しない(できない)」が27.3%、「できれば活用したい」が18.4%と続いている。



問36 運動やスポーツ・レクリエーション活動に伴う費用として、あなたは1回につき、どの程度までなら費用を支出してもよいと思いますか。A～Dそれぞれに、選択肢の中から、あてはまるものを1つ選んでください。（各問、○は1つだけ）

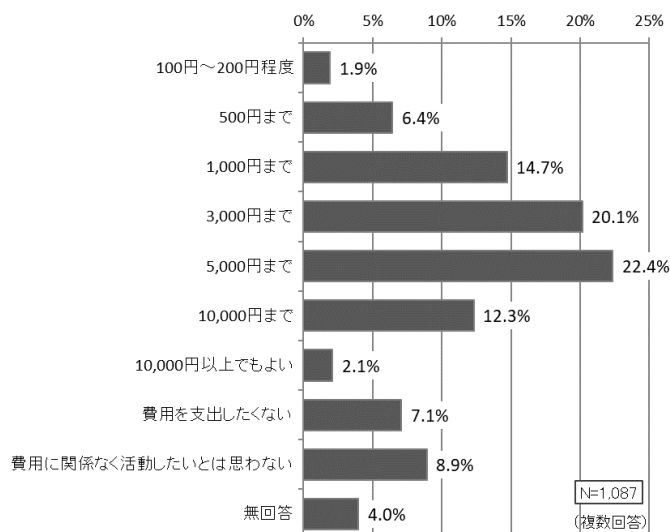
○「1,000円まで」が24.9%で最も多く、以下、「3,000円まで」が20.4%、「500円まで」が17.5%と続いている。

問 36－1 運動やスポーツ等への費用の支出について（総合型地域スポーツクラブ）



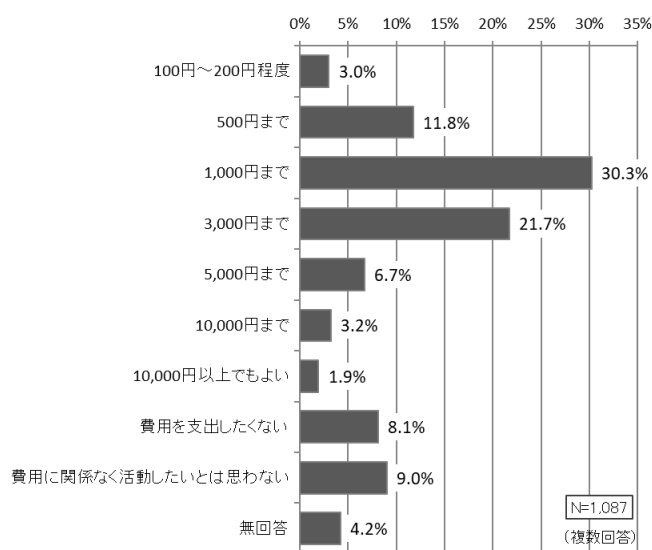
○「5,000円まで」が22.4%で最も多く、以下、「3,000円まで」が20.1%、「1,000円まで」が14.7%と続いている。

問 36－2 運動やスポーツ等への費用の支出について（民間のスポーツクラブ）



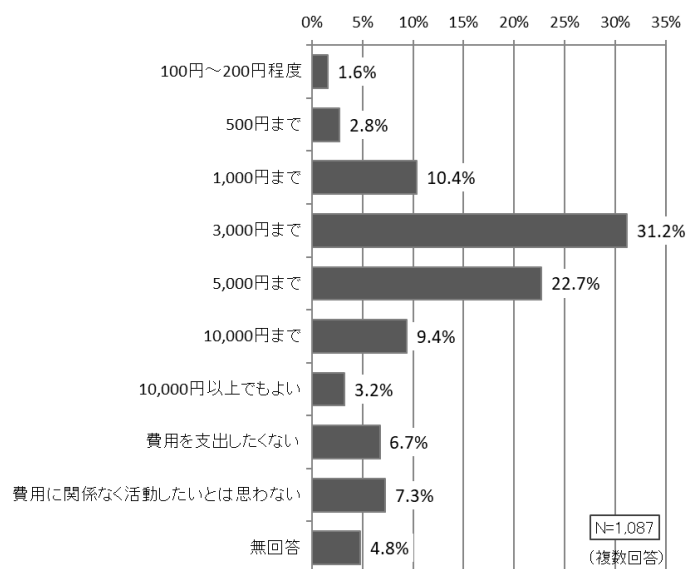
○「1,000 円まで」が 30.3%で最も多く、以下、「3,000 円まで」が 21.7%、「500 円まで」が 11.8%と続いている。

問 36－ 3 運動やスポーツ等への費用の支出について（スポーツイベント）



○「3,000 円まで」が 31.2%で最も多く、以下、「5,000 円まで」が 22.7%、「1,000 円まで」が 10.4%と続いている。

問 36－ 4 運動やスポーツ等への費用の支出について（スポーツ観戦）

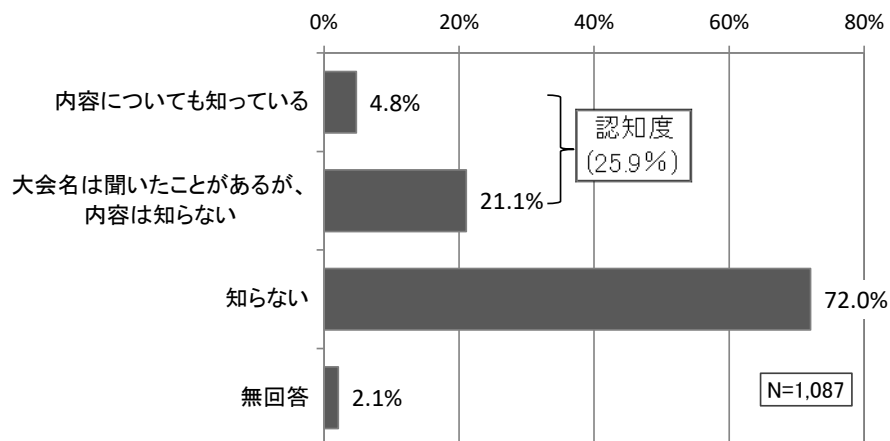


問37 あなたはワールド・マスターズ・ゲームズは、関西で開催（2027年5月）されることを知っていますか。（1つだけ）

※ワールド・マスターズ・ゲームズとは

国際マスターズゲームズ協会（IMGA）が4年ごとに主宰する、原則30歳以上のスポーツ愛好者であれば誰もが参加できる生涯スポーツの国際総合競技大会。関西大会は新型コロナの影響で2021年から延期となっていましたが、2027年5月に開催が決定しました。

○認知度は、「知らない」が72.0%で最も多くなっている。「内容についても知っている」（4.8%）と「大会名は聞いたことがあるが、内容は知らない」（21.1%）を合わせると、『認知度』は25.9%となる。



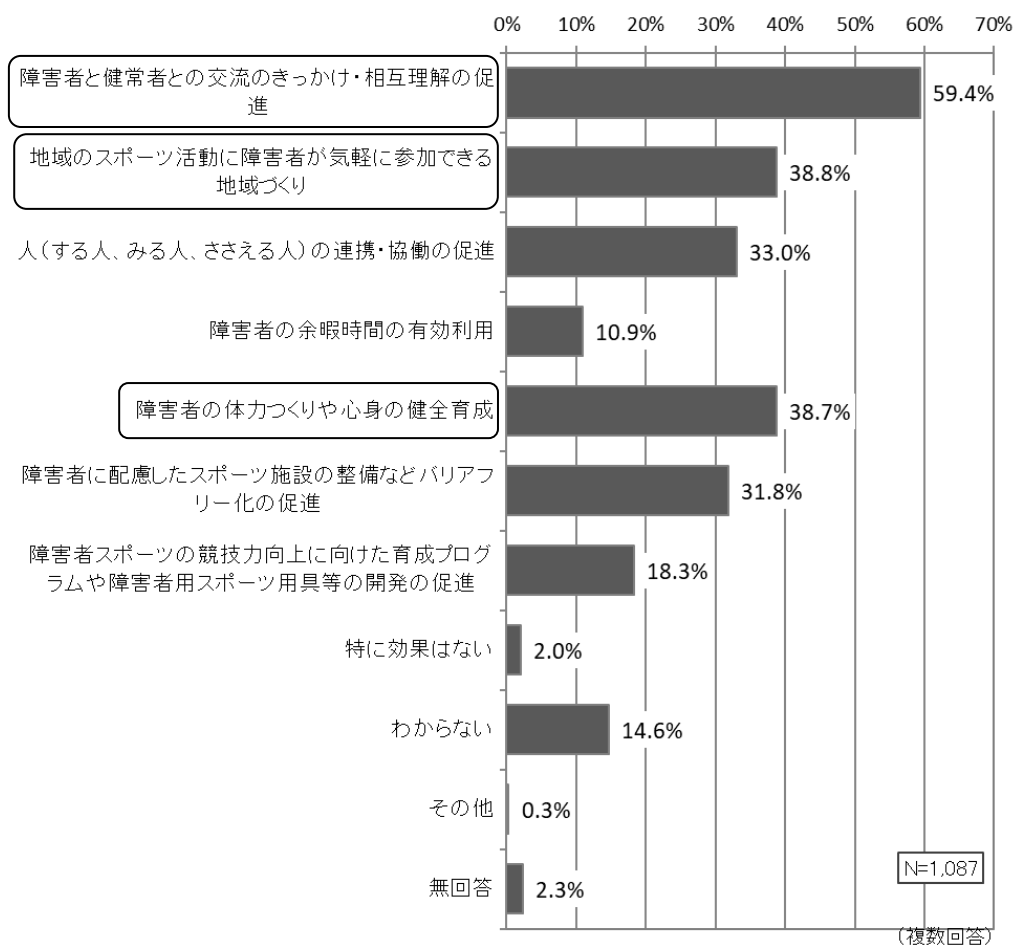
WMG への認知度

※参考：前回調査時（平成 29 年）『認知度』 20.8%

7. 障害者スポーツに関すること

問38 障害者スポーツを積極的に推進することでもたらされる効果は何であると思いますか。(複数回答可)

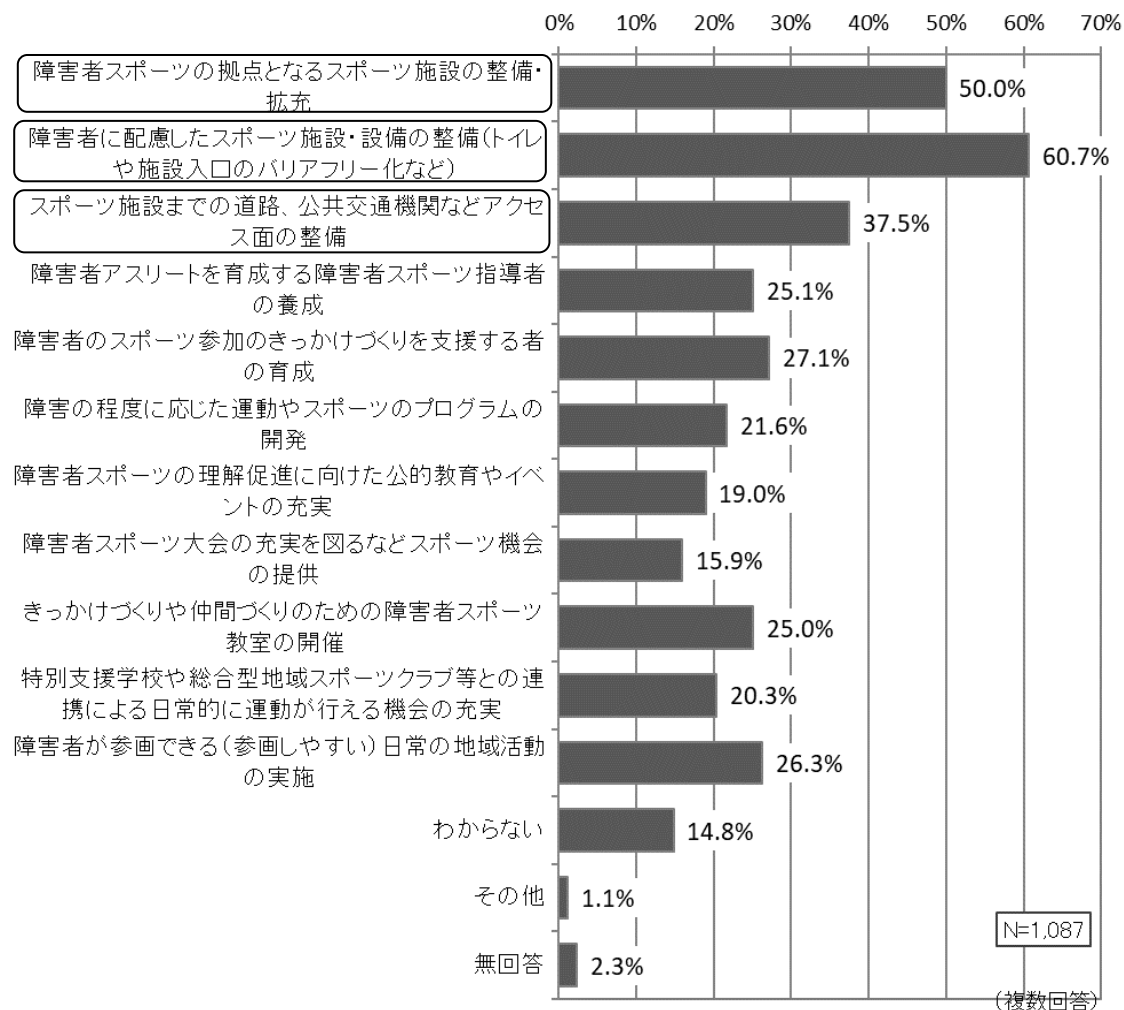
○「障害者と健常者との交流のきっかけ・相互理解の促進」が59.4%で最も多く、以下、「地域のスポーツ活動に障害者が気軽に参加できる地域づくり」が38.8%、「障害者の体力づくりや心身の健全育成」が38.7%と続いている。



障害者スポーツを推進することでもたらされる効果

問39 障害者が、日常生活の中で、気軽に運動やスポーツができるようにするためには、どのような手立てが必要だと思いますか。（複数回答可）

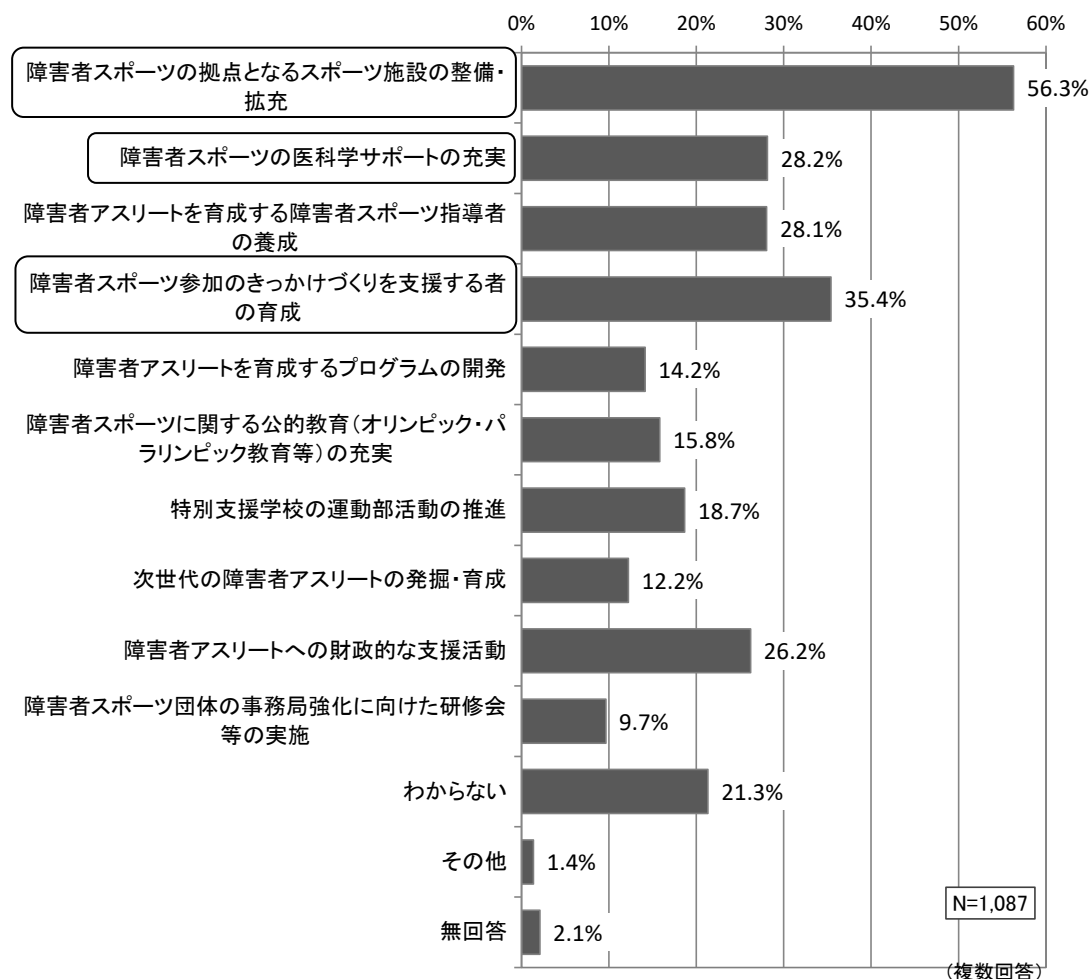
○「障害者に配慮したスポーツ施設・設備の整備（トイレや施設入口のバリアフリー化など）」が60.7%で最も多く、以下、「障害者スポーツの拠点となるスポーツ施設の整備・拡充」が50.0%、「スポーツ施設までの道路、公共交通機関などアクセス面の整備」が37.5%と続いている。



障害者がスポーツに参画するための手立て

問40 京都府が障害者スポーツの競技力向上に向けて取り組むべきことはどのようなことだと思いますか。(複数回答可)

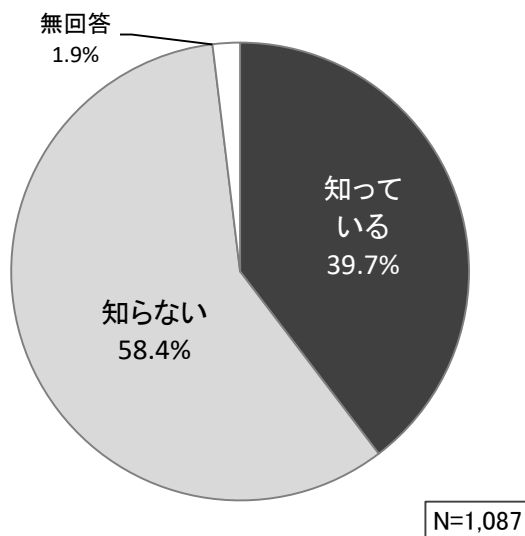
○「障害者スポーツの拠点となるスポーツ施設の整備・拡充」が56.3%で最も多く、以下、「障害者スポーツ参加のきっかけづくりを支援する者の育成」が35.4%、「障害者スポーツの医科学サポートの充実」が28.2%と続いている。



8. 子どものスポーツに関することについて

問41 現在、学校での休日における部活動（活動指導・大会引率を含む）を、令和5年度より段階的に、地域スポーツの団体等に委ねる「部活動の地域移行」がスポーツ庁において検討されています。あなたは、このことを知っていますか？（1つだけ）

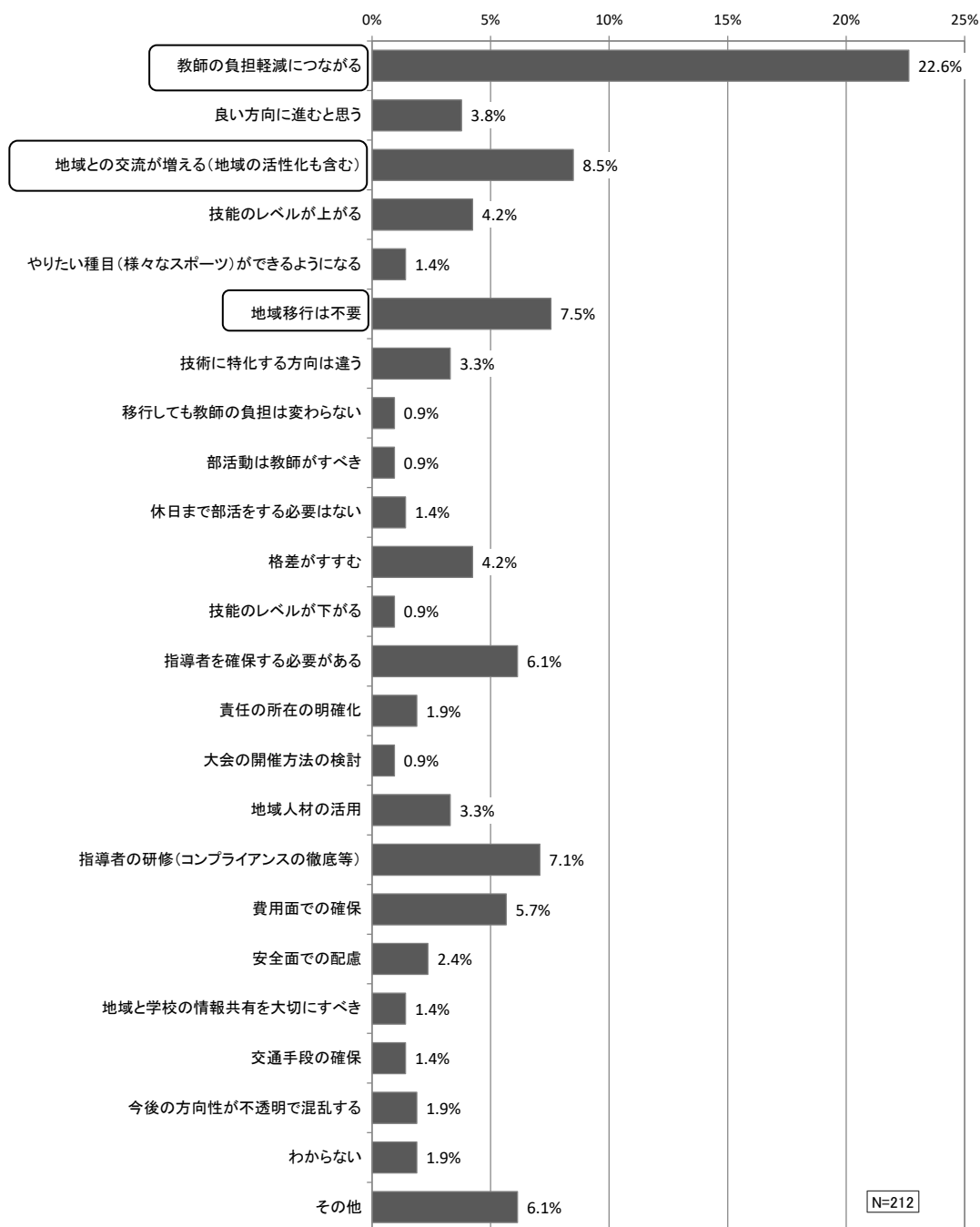
○部活動の地域移行について「知っている」割合は、39.7%となっている。一方、「知らない」と回答した割合は、58.4%となっている。



部活動の地域移行についての認知度

問42 学校における「部活動の地域移行」に関して、何か御意見があれば御記入ください。
(自由記述)

○「教師の負担軽減につながる」が22.6%で最も多く、以下、「地域との交流が増える（地域の活性化も含む）」が8.5%、「地域移行は不要」が7.5%と続いている。

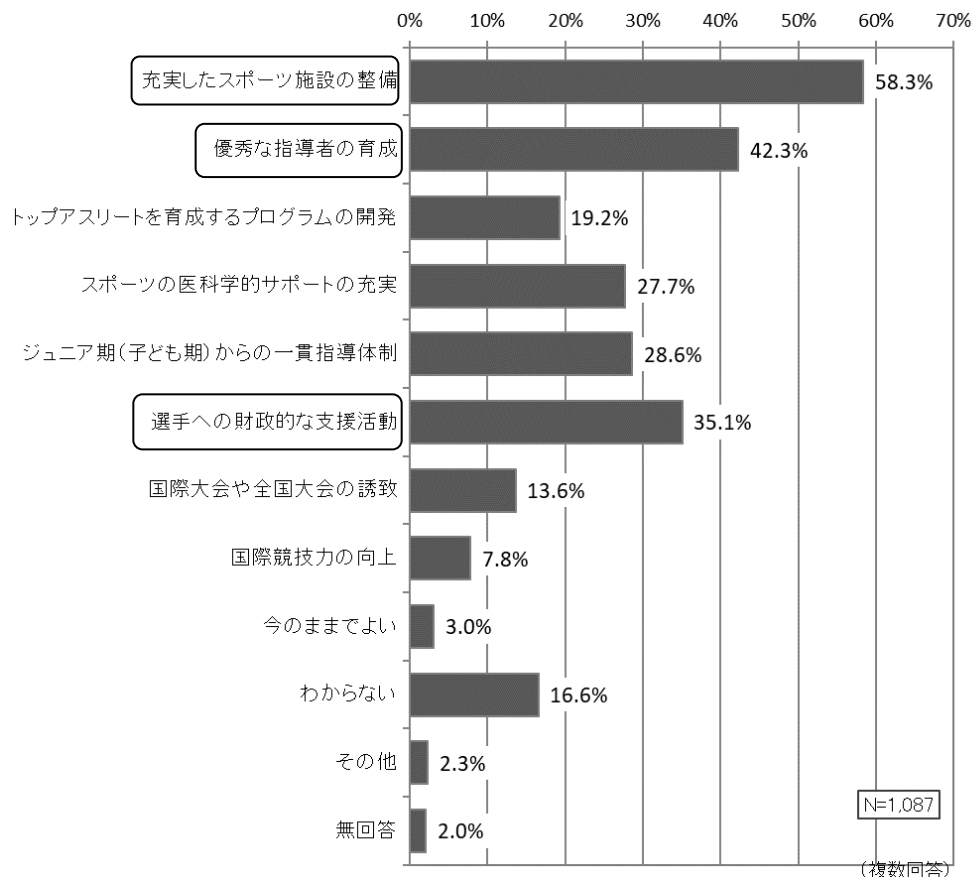


部活動について自由記述

9. 競技スポーツに関することについて

問43 京都府の競技力向上のためには、どのような環境（施設やシステム等）を整えることが必要だと思いますか。（複数回答可）

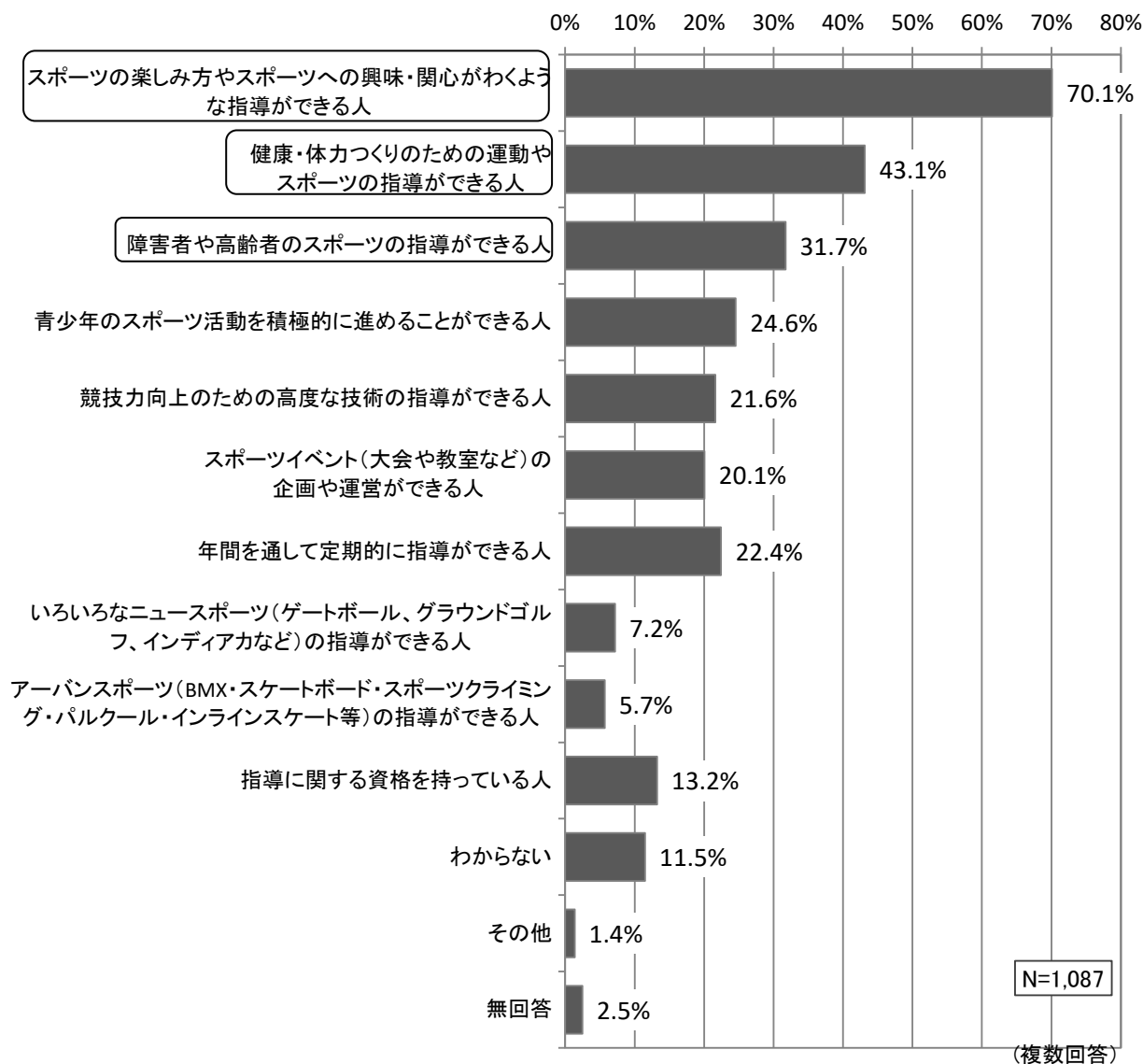
○「充実したスポーツ施設の整備」が58.3%で最も多く、以下、「優秀な指導者の育成」が42.3%、「選手への財政的な支援活動」が35.1%と続いている。



競技力向上のための環境整備について

問44 あなたは、今後、運動やスポーツ活動をより推進させていくためには、どのようなスポーツ指導者が必要だと思いますか。（複数回答可）

○「スポーツの楽しみ方やスポーツへの興味・関心がわくような指導ができる人」が70.1%で最も多く、以下、「健康・体力づくりのための運動やスポーツの指導ができる人」が43.1%、「障害者や高齢者のスポーツの指導ができる人」が31.7%と続いている。



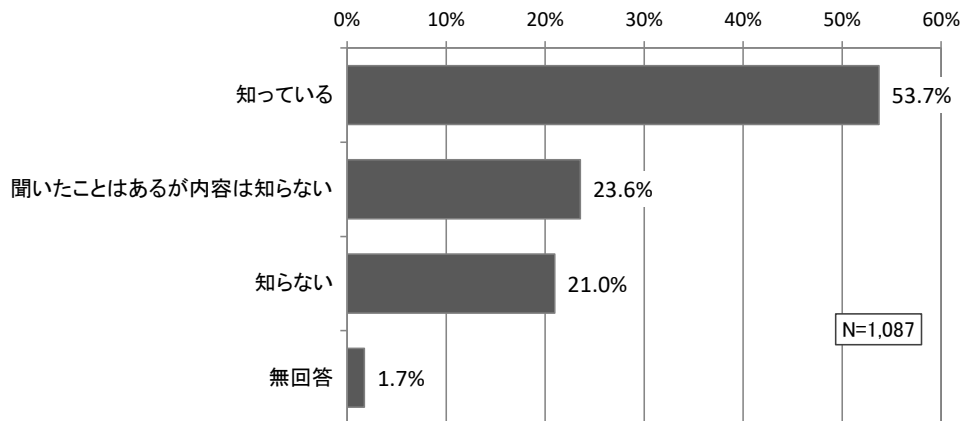
運動やスポーツ活動の推進に必要な指導者

10. eスポーツに関することについて

問45 あなたは、「eスポーツ」を知っていますか。（1つだけ）

eスポーツとは：エレクトリック・スポーツの略語。電子機器を使って対戦するコンピューターゲームなどを、スポーツ競技として捉えたもの

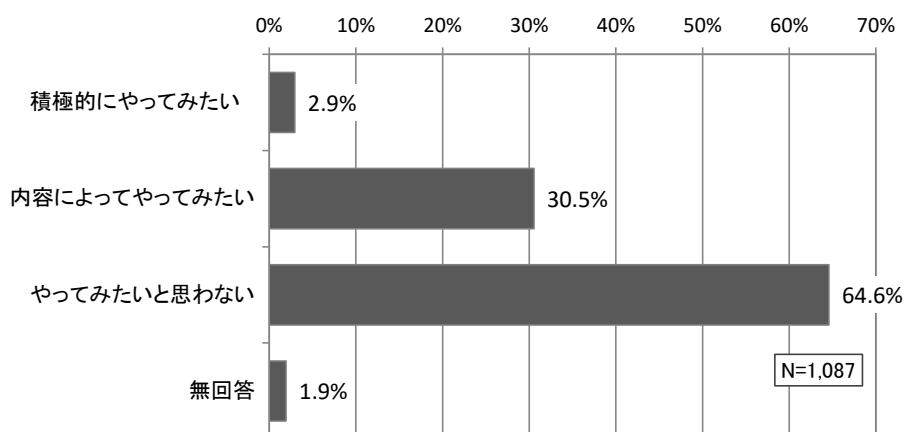
○eスポーツを「知っている」割合は、53.7%となっている。一方、「知らない」と回答した割合は、21.0%となっている。



e スポーツの認知度

問46 あなたは、「eスポーツ」をやってみたいと思いますか。（1つだけ）

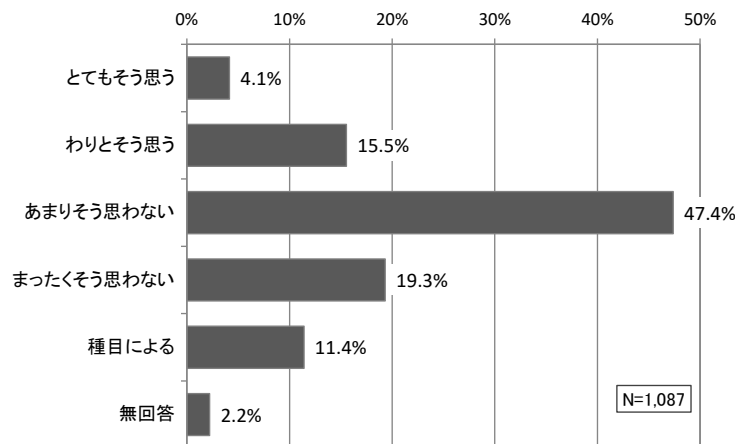
○eスポーツを「やってみたいと思わない」と回答した割合は64.6%と、「内容によってやってみたい」（30.5%）を大きく上回っている。



e スポーツへの参加意欲

問47 あなたは、「eスポーツ」をスポーツだと思いますか。（1つだけ）

○「あまりそう思わない」が47.4%で最も多く、以下、「まったくそう思わない」が19.3%、「わりとそう思う」が15.5%と続いている。

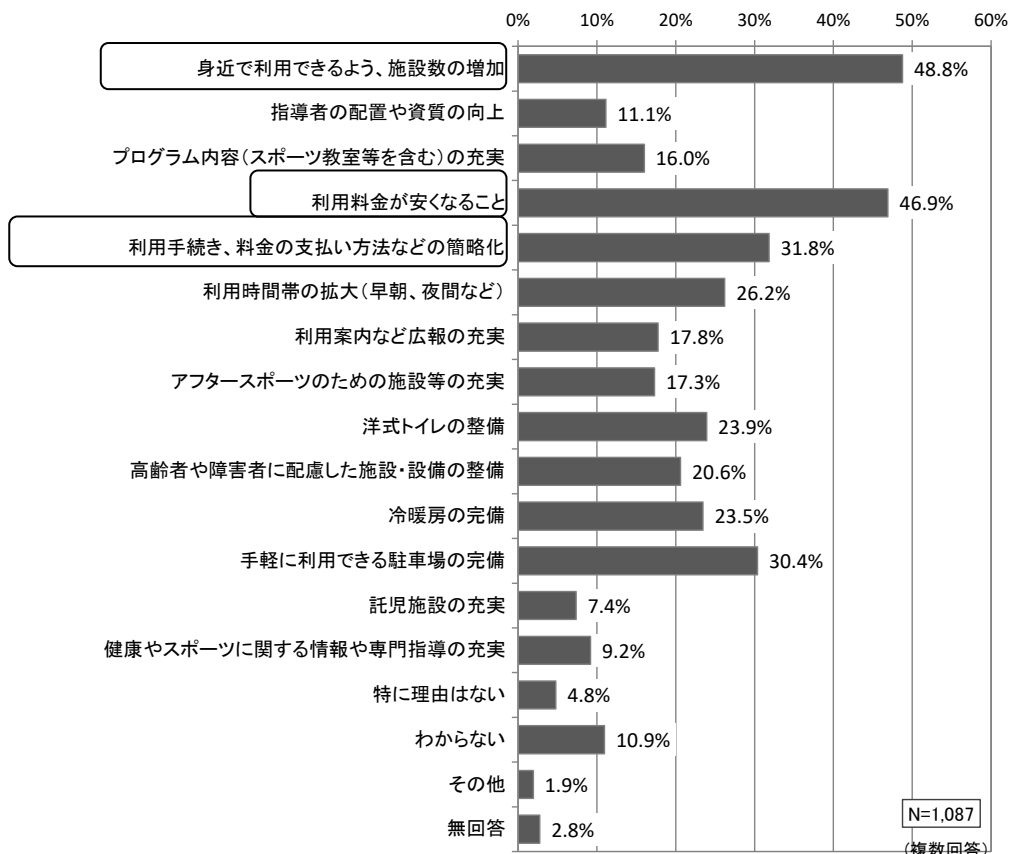


e スポーツのとらえかた

11. スポーツ施設に関することについて

問48 あなたは、市町村立体育館、プール、テニスコートなどの公共スポーツ施設について、何か望むことがありますか。（複数回答可）

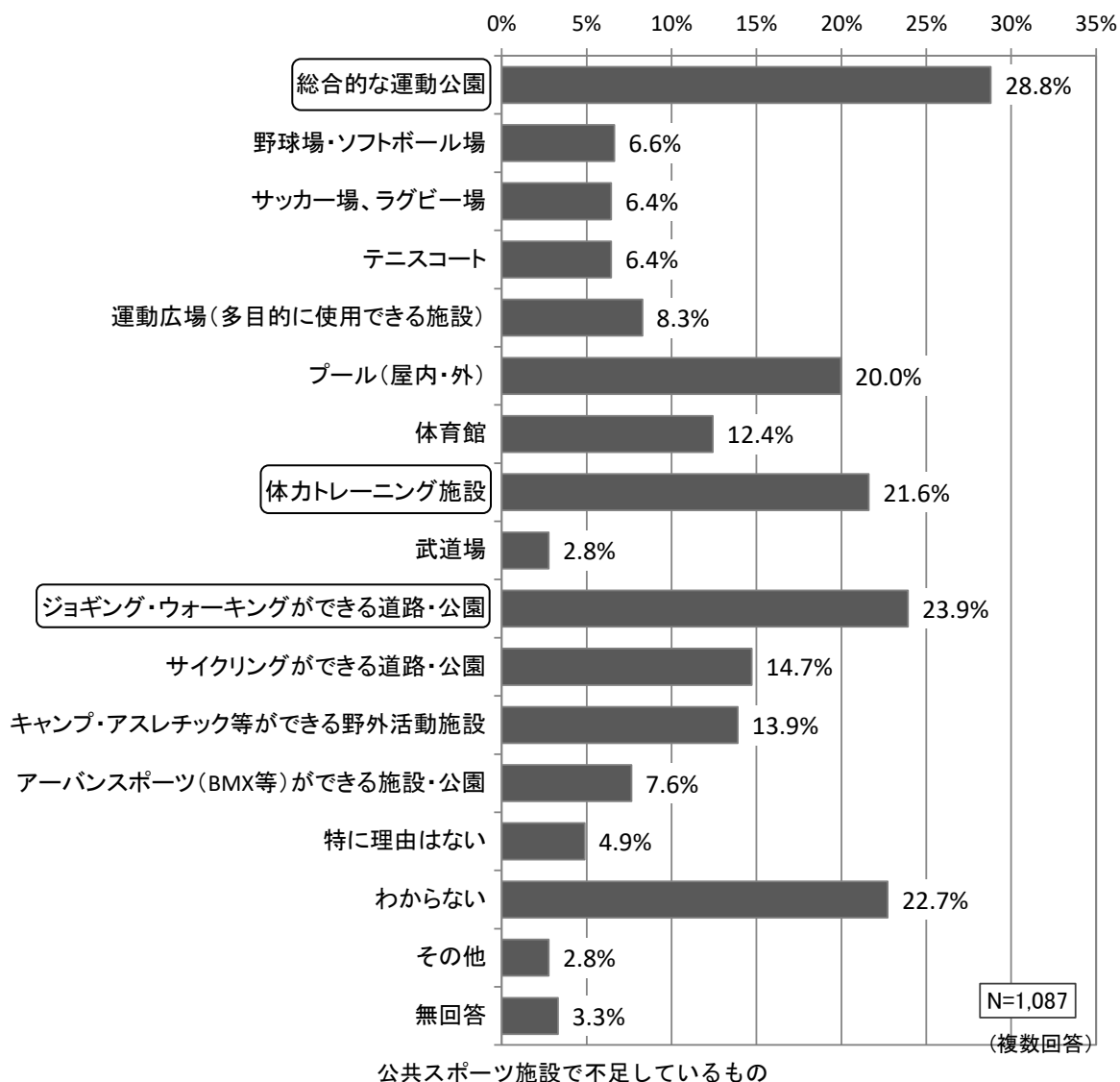
○「身近で利用できるよう、施設数の増加」が48.8%で最も多く、以下、「利用料金が安くなること」が46.9%、「利用手続き、料金の支払い方法などの簡略化」が31.8%と続いている。



公共スポーツ施設に望むこと

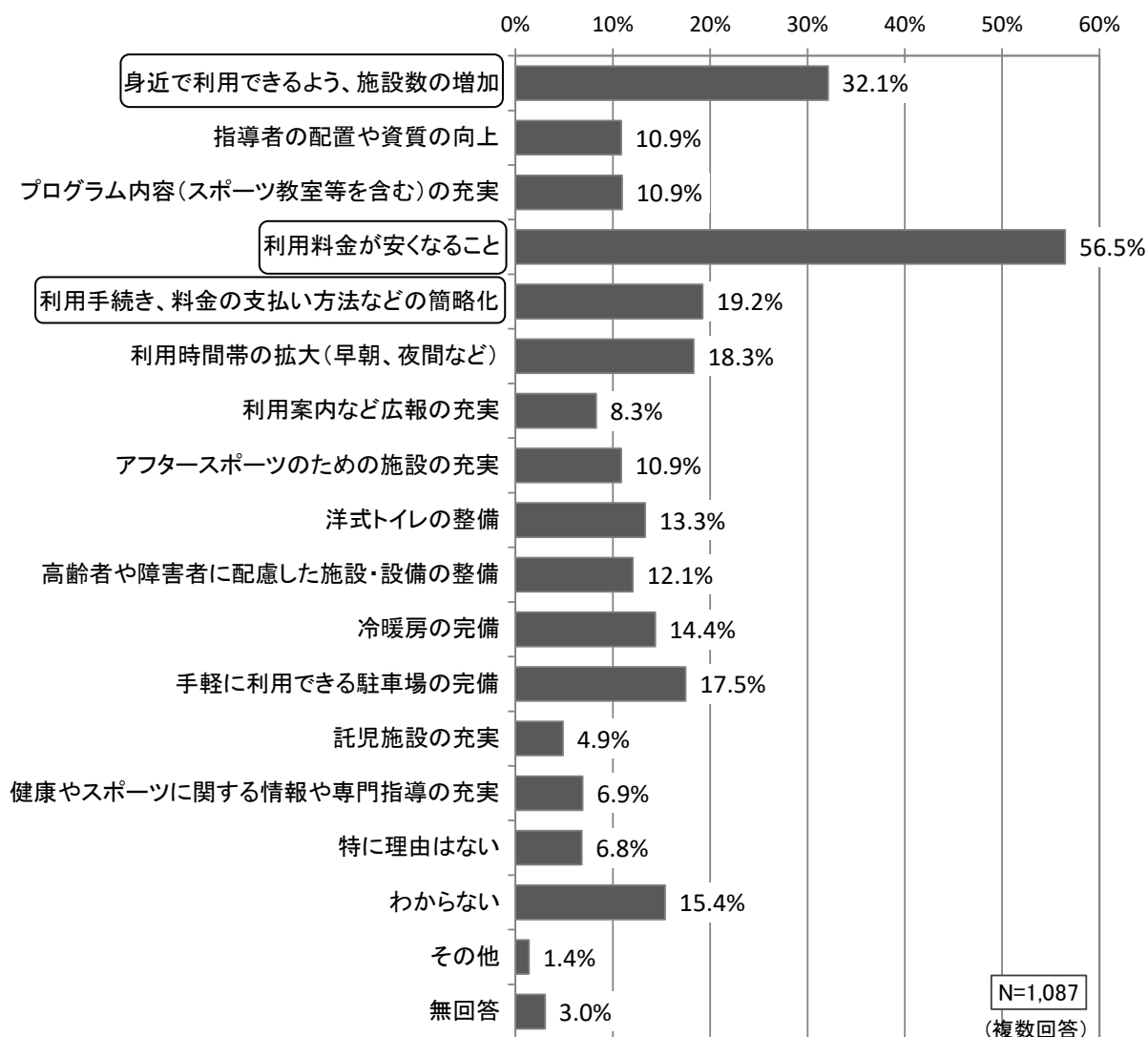
問49 あなたは、公共スポーツ施設について、不足していると思われる施設は何ですか。(複数回答可)

○「総合的な運動公園」が28.8%で最も多く、以下、「ジョギング・ウォーキングができる道路・公園」が23.9%、「体カトレーニング施設」が21.6%と続いている。一方、「わからない」と回答した割合は22.7%となっている。



問50 あなたは、フィットネスクラブ、スイミングクラブ、テニスクラブ、ゴルフ練習場などの民間スポーツ施設について、何か望むことはありますか。(複数回答可)

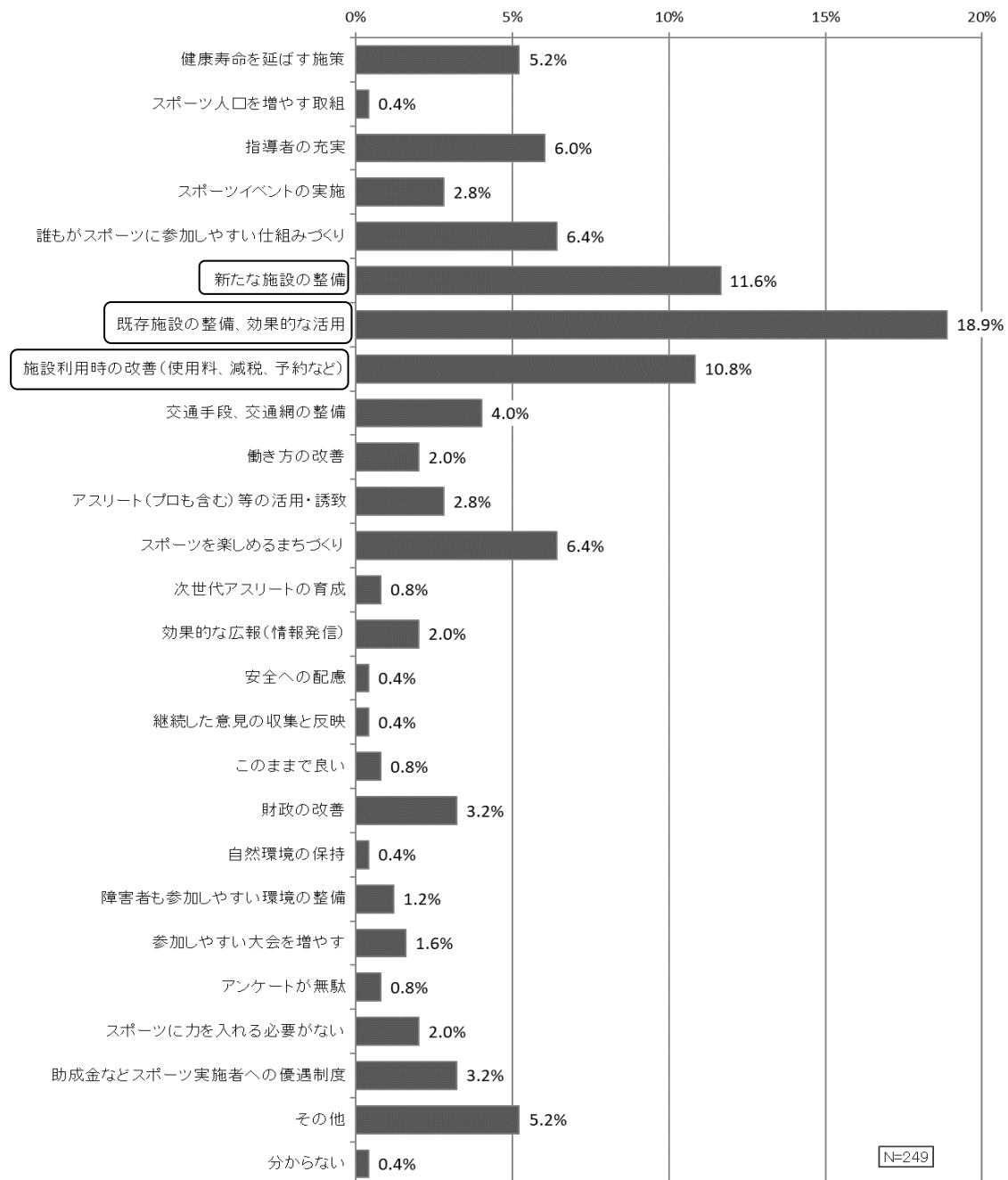
○「利用料金が安くなること」が56.5%で最も多く、以下、「身近で利用できるよう、施設数の増加」が32.1%、「利用手続き、料金の支払い方法などの簡略化」が19.2%と続いている。



民間スポーツ施設に望むこと

問51 運動・スポーツ活動をさらに推進させていくために、国や京都府または市町村に今後どのようなことに力を入れてもらいたいと思いますか。（自由記述）

○「既存施設の整備、効果的な活用」が18.9%で最も多く、以下、「新たな施設の整備」が11.6%、「施設利用時の改善（使用料、減税、予約など）」が10.8%と続いている。



自治体に力を入れて欲しいこと

編集・発行：京都府教育庁指導部保健体育課

〒600-8533 京都市下京区中堂寺命婦町 1-10
京都産業大学むすびわざ館

TEL 075-414-5864

FAX 075-414-5863